

1 栄養・食生活

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(1) 栄養状態、栄養素(食物)摂取レベル												
適正体重を維持する人の増加	成人の肥満者(BMI \geq 25.0)の減少	20～60歳代男性	15%以下	19.9%	市民健康意識調査	未把握				21.2%	市民健康意識調査	D
		40～60歳代女性	13%以下	17.9%	市民健康意識調査	未把握				19.1%	市民健康意識調査	D
	肥満児の減少	3歳児	減らす	14%	3歳児健康診査	11%	3歳児健康診査H16	新規	10.5%		3歳児健康診査	A
	やせの者(BMI<18.5)の減少	20歳代女性	15%以下	20.5%	市民健康意識調査	未把握				14.1%	市民健康意識調査	A
(2) 知識・態度・行動レベル												
自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する人の増加	[注:適正体重:「(身長(m)) 2×2 」を標準(BMI=22標準を標準とする)]	男性	80%以上	未把握		未把握				64%	市民健康意識調査	次
		女性								69.5%	市民健康意識調査	次
朝食の欠食率の減少	週6日以上朝食をとっていない者	20歳代男性	15%以下	32.8%	市民健康意識調査	18.5%	健康に関する意識調査			13.8%	市民健康意識調査	A
		30歳代男性	15%以下	23.4%	市民健康意識調査	21.1%	健康に関する意識調査			27.0%	市民健康意識調査	D
		15～19歳	なくす	19%	市民健康意識調査	8.8%	健康に関する意識調査			7.1%	市民健康意識調査	B

1 栄養・食生活

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(2) 知識・態度・行動レベル												
健康のために食事に気をつけている人の増加	[注:きちんとした食事:1日あたりのエネルギー必要量及び各種栄養素密度について一定条件をみたく食事。家族等2人以上で:家族とのふれあいの場としての食事は、子供の健全な心身の育成や生涯を通じて良好な食生活を実践する力を育むために重要。]	成人	75%以上	67.2%	市民健康意識調査	76.8%	健康に関する意識調査			76.2%	市民健康意識調査	A
外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする者の割合を増加	いつもしている	成人	60%以上	11.6%	市民健康意識調査	未把握				15.4%	市民健康意識調査	B
	時々している	成人		47.2%	市民健康意識調査	未把握				44.2%	市民健康意識調査	
自分にとって適切な食事内容・量を知っている者の割合の増加		成人男性	60%以上	45.1%	市民健康意識調査	未把握				44.2%	市民健康意識調査	D
		成人女性		49.6%	市民健康意識調査	未把握				56.6%	市民健康意識調査	B
孤食をする人の減少	週3日以上夕食を大人と食べない者	小学生(5年生)	減らす						11.2%		H20学童からの生活習慣病予防に係る実態調査	次
食事づくりの体験をする人の増加	いつもする・たまにする・時々するもの	小学生(5年生)	増やす						85.3%			次

2 身体活動・運動

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典	
(1) 成人の目標											
身体活動・運動に対する意識についての目標	男性	60.0%以上	47.4%	市民健康意識調査	70.4%	健康に関する意識調査			70.2%	市民健康意識調査	A
	女性	65.0%以上	52.9%	市民健康意識調査	70.2%	健康に関する意識調査			66.3%	市民健康意識調査	A
日常生活における歩数の増加	50歳代男性	9,100歩以上	9,078歩	歩数調査	8291歩	歩数調査			8220歩	歩数調査	D
	50歳代女性	8,500歩以上	8,248歩	歩数調査	8527歩	歩数調査			8168歩	歩数調査	D
運動習慣者の増加	男性	20%以上	14.7%	市民健康意識調査	40%	健康に関する意識調査			45.6%	市民健康意識調査	A
	女性	20%以上	18.8%	市民健康意識調査	28.6%	健康に関する意識調査			35%	市民健康意識調査	A
運動をまったくしたことの少ない人の減少	男性	20.0%以下	24.0%	市民健康意識調査	13.4%	健康に関する意識調査			11.3%	市民健康意識調査	A
	女性	18.0%以下	20.2%	市民健康意識調査	14.4%	健康に関する意識調査			12.1%	市民健康意識調査	A
(2) 高齢者の目標											
外出について積極的な態度をもつ人の増加	男性(60歳以上)	70.0%以上	51.5%	市民健康意識調査	未把握				67.3%	市民健康意識調査	B
	女性(60歳以上)	80.0%以上	72.8%	市民健康意識調査	未把握				66.0%	市民健康意識調査	D
まったく外出しない人の減少(県独自)	70歳代	現状維持	2.7%	市民健康意識調査	未把握				3.0%	市民健康意識調査	A

2 身体活動・運動

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(2) 高齢者の目標												
日常生活における歩数の増加	[注:1日当たり平均歩数で1,300歩、歩行時間で15分、歩行距離で650~800m程度の増加に相当]	男性(70歳以上)	現状維持	6,632歩	歩数調査	6518歩	歩数調査			7359歩	歩数調査	A
		女性(70歳以上)		5,580歩	歩数調査	6468歩	歩数調査			6641歩	歩数調査	A
バス・電車等を利用し1人で外出している人の割合の増加		65歳以上	増やす	未把握		未把握		新規		90.7%	介護予防チェックリスト(60歳以上)	次

3 休養・こころの健康づくり

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(1) ストレス												
最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合の減少	たくさんある人	成人	減らす	26.4%	市民健康意識調査	22.1%	健康に関する意識調査	目標値変更		25.5%	市民健康意識調査	B
最近1ヶ月間にストレスを多少あると感じても、自分でうまく解消できる人の割合の増加		男性	増やす	未把握		未把握		新規		70.5%	市民健康意識調査(補足調査)	次
		女性	増やす	未把握		未把握		新規		76.8%	市民健康意識調査(補足調査)	次
最近1か月間常に体調不良や疲れが継続している人の割合の減少		男性	減らす	未把握		未把握		新規		7.0%	市民健康意識調査(補足調査)	次
		女性	減らす	未把握		未把握		新規		7.0%	市民健康意識調査(補足調査)	次
(2) 睡眠												
睡眠によって休養が十分に取れている人の割合の増加		男性	増やす	未把握		未把握		新規		33.3%	市民健康意識調査	次
		女性	増やす	未把握		未把握		新規		27.6%	市民健康意識調査	次

3 休養・こころの健康づくり

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(2) 睡眠												
眠りを助けるために睡眠補助品(睡眠薬・精神安定剤)やアルコールを使うことのある人の減少	時々ある	成人	減らす	8.5%	市民健康意識調査	未把握		目標値変更		7.13%	市民健康意識調査	B
	しばしばある	成人	減らす	4.1%	市民健康意識調査	未把握		目標値変更		4.0%	市民健康意識調査	C
	常にある	成人	減らす	5.5%	市民健康意識調査	未把握		目標値変更		8.4%	市民健康意識調査	D
(3) 自分に合った趣味や生きがいを持つ												
自分に合ったストレスの解消方法を持つ人の増加		男性	増やす	未把握		未把握		新規		73.2%	市民健康意識調査(補足調査)	次
		女性	増やす	未把握		未把握		新規		80%	市民健康意識調査(補足調査)	次
(4) こころの悩みを相談できる												
相談できる人や機関があると答えた人の増加		全体	70.0%	63.1%	市民健康意識調査	(76.2%)	健康に関する意識調査	項目の分割		70.5%	市民健康意識調査	A
自殺者の減少		全体	減らす	23人	死亡統計	21人	死亡統計	新規	25人		死亡統計	D
		全体	減らす	22.4	人口10万対	20.4	人口10万対		23.6		人口10万対	D

4 たばこ												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(1) 喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及												
喫煙で以下の疾患にかかりやすくなると思 う人の割合	肺がん	成人	100%	93.6%	市民健康意識調査	未把握				93.7%	市民健康意識調査	C
	ぜんそく	成人	100%	66.0%	市民健康意識調査	未把握				69.4%	市民健康意識調査	B
	気管支炎	成人	100%	74.8%	市民健康意識調査	未把握				73.2%	市民健康意識調査	C
	心臓病	成人	100%	48.2%	市民健康意識調査	未把握				52.3%	市民健康意識調査	B
	脳卒中	成人	100%	34.6%	市民健康意識調査	未把握				51.2%	市民健康意識調査	B
	胃潰瘍	成人	100%	29.3%	市民健康意識調査	未把握				27.7%	市民健康意識調査	D
	妊娠への影響	成人	100%	66.5%	市民健康意識調査	未把握				65.2%	市民健康意識調査	C
	歯周病	成人	100%	26.4%	市民健康意識調査	未把握				27.5%	市民健康意識調査	B
受動喫煙の害について知っている人の割合の増加	15～19歳	増やす	未把握	未把握		新規			83.9%	市民健康意識調査	次	
	成人	増やす	未把握	未把握		新規			77.2%	市民健康意識調査	次	
乳児のいる家庭で、喫煙の害について知っている人の割合の増加	乳児のいる家庭	増やす	未把握	未把握		新規	99.6%			4か月児アンケート	次	
乳児のいる家庭で、喫煙している人がいる割合の減少	乳児のいる家庭	減らす	未把握	未把握		新規	51.9%			4か月児アンケート	次	

4 たばこ											
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規/削除	2009年	2010年	出典	
(2) 禁煙、節煙を希望する者に対し禁煙支援をする											
禁煙、節煙を希望する者に対し禁煙支援をする	喫煙者	今後実施	実施していない		実施	H16事業報告		実施		H21事業報告	A
禁煙したい人の増加	喫煙者	増やす	未把握		未把握		新規		63.3%	市民健康意識調査	次
(3) 喫煙者の減少(県独自)											
喫煙する人を減らす	成人男性	40%以下	48.7%	市民健康意識調査	38.4%	意識調査			34.6%	市民健康意識調査	A
	成人女性	15%以下	18.9%	市民健康意識調査	8.8%	意識調査			10.8%	市民健康意識調査	A
(4) 未成年者の喫煙をなくす											
未成年者の喫煙をなくす	15～19歳	なくす	8.6%	市民健康意識調査	7.8%	意識調査			1.6%	市民健康意識調査	B
	中学生	なくす	未把握		7.8%	H15思春期アンケート	新規			H22思春期アンケート	㊦
(5) 妊娠中は喫煙しない											
妊娠中の喫煙をゼロにする	妊婦	なくす	未把握		未把握		新規	2.2%		母子手帳交付時の面接	次
妊娠中に禁煙ができた人の増加	4か月児健康相談の親	増やす	未把握		未把握		新規	72.2%		4か月児アンケート	次
(6) 公共の場や職場での分煙の徹底、及び、効果の高い分煙についての知識の普及											
公共の場では、指定された場所で吸う(マナーを守る)人の増加	喫煙者	増やす	未把握		未把握		新規		96.0%	市民健康意識調査	次

5 アルコール												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(1) 1日に平均純アルコールで約60gを越え多量に飲酒する人の減少												
1日に平均純アルコールで約60gを越え多量に飲酒する人の減少	成人男性	11%以下	14.4%	市民健康意識調査	未把握					14.7%	市民健康意識調査	C
	成人女性	2割以上の減少	0.9%	市民健康意識調査	未把握					3.9%	市民健康意識調査	D
	全体	6%以下	7.4%	市民健康意識調査	未把握					10.3%	市民健康意識調査	D
(2) 未成年者の飲酒をなくす												
未成年者の飲酒をなくす	15～19歳男性	なくす	17.2%	市民健康意識調査	24%	健康に関する意識調査				7.14%	市民健康意識調査	B
	15～19歳女性		10.3%	市民健康意識調査	15.3%	健康に関する意識調査				3.0%	市民健康意識調査	B
	中学生男性		未把握		13.7%	H15思春期アンケート		項目の変更	飲んだことがある	23.9%	H22思春期アンケート	次
	中学生女性		未把握		14.8%	H15思春期アンケート			今も飲んでいる	5.8%	H22思春期アンケート	次
(3) 「節度ある適度な飲酒」としては、1日平均純アルコールで約20g程度である旨の知識を普及する												
「節度ある適度な飲酒」の知識を理解している人の増加	成人	100%	68.7% (1～2合程度)	市民健康意識調査	66.2%	健康に関する意識調査				57.8%	市民健康意識調査	D

5 アルコール											
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典	
(4) 妊娠中や授乳中は飲酒をしない											
妊娠中の飲酒者をなくす	妊婦	なくす	未把握		1.4%	母子健康手帳交付時の面接	新規	0.3%		母子健康手帳交付時の面接	B
授乳中の飲酒者をなくす	妊婦	なくす	未把握		未把握		新規	12.4%		4か月児健康相談アンケート	次

6 歯の健康											
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典	
(1) むし歯を予防する											
3歳児におけるむし歯のない人の増加	3歳児	80%以上	68.2%	千葉県3歳児歯科健康診査	73.4%	3歳児健康診査		79.8%		3歳児健康診査	B
3歳児における一人平均むし歯数の減少	3歳児	1歯以下	1.4歯	千葉県3歳児歯科健康診査	1.1歯	3歳児健康診査		0.8歯		3歳児健康診査	A
12歳児における一人平均むし歯数の減少	12歳児	1歯以下	2.6歯	H13学校歯科健康診断	2.2歯	学校歯科健康診断		0.95歯	1.18歯	学校歯科健康診断	B
フッ化物はむし歯予防の手段としてとても必要だと思う人の増加	成人	増やす	未把握		34.3%	H16就学時健康診査	新規	47.6%		就学時健康診査	A
3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の増加	3歳児	60%以上	55.6%	H12千葉県歯科保健実態調査	67.1%	千葉県歯科保健実態調査		69.1%		3歳児健康診査	A
間食として甘い食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の減少	1歳6ヶ月児	減らす	9.2%	乳児健康診査	5.9%	1歳6か月児健康診査H16		6.7%		1歳6か月児健康診査	A
フッ化物配合歯磨剤使用者の増加	6歳児	90%以上	未把握		70.5%	H16就学時健康診査	新規	77.5%		就学時健康診査	B
	小学校第5学年	90%以上	74.6%	歯みがき剤状況調べ	未把握			85.0%		歯みがき剤状況調べ	B
	20歳以上	90%以上	67.1%	市民健康意識調査	43.5%	健康に関する意識調査		49.9%		市民健康意識調査	D

6 歯の健康												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(1) むし歯を予防する												
フッ化物洗口を行っている人の割合の増加	6歳児	増やす	未把握		6.7%	H16就学時健診	新規	38.7%		就学時健診	A	
	4～14歳	増やす			0人			1968人	業績	A		
フッ化物洗口を実施している施設の数の増加	保育所・幼稚園・小中学校	増やす	未把握		0	フッ化物洗口実施状況調査	新規	14		フッ化物洗口実施状況調査	A	
フッ化物洗口剤を取り扱っている歯科医療機関等の数の増加	市内歯科医療機関	増やす	9軒	フッ化物取り扱い状況調査	37軒	フッ化物取り扱い状況調査	新規	40軒		フッ化物取り扱い状況調査	A	
(2) 歯周病を予防する												
12歳児における歯肉炎(G・GO)の減少	12歳児	減らす	未把握		9.1%	学校歯科健康診断	新規	16.9%		学校歯科健康診断	D	
歯間部清掃用具を使用している人の増加	20歳代	40%以上	19.7% (20歳)	市民健康意識調査	20.6%	健康に関する意識調査			266%	市民健康意識調査	B	
	30歳代	40%以上	29.3% (30歳)	市民健康意識調査	30.5%	健康に関する意識調査			35.0%	市民健康意識調査	B	
	40歳代	40%以上	35.6% (40歳)	市民健康意識調査	37.5%	健康に関する意識調査			39.9%	市民健康意識調査	B	
	50歳代	40%以上	36.6% (50歳)	市民健康意識調査	42.6%	健康に関する意識調査			40.3%	市民健康意識調査	A	
	60歳代	40%以上	32.7% (60歳)	市民健康意識調査	39.9%	健康に関する意識調査			46.6%	市民健康意識調査	B	
	70歳代	40%以上	27.0% (70歳)	市民健康意識調査	39.9%	健康に関する意識調査			36.7%	市民健康意識調査	B	

6 歯の健康											
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典	
(2)歯周病を予防する											
喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及（喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の増加）	20歳以上	100%	26.4%	市民健康意識調査	52.1%	H16成人歯科健診			27.5%	市民健康意識調査	B
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の増加	20歳以上	60%以上	36.2%	市民健康意識調査	44.1%	健康に関する意識調査			46.4%	市民健康意識調査	B
定期的に歯科健診を受けている人の増加	20歳以上	60%以上	45.1%	市民健康意識調査	44.9%	H16成人歯科健診			51.9%	市民健康意識調査	B

7 糖尿病												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17 の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(1) 糖尿病危険因子の回避												
適正体重を維持する人の増加	成人の肥満者 (BMI≥25.0) の減少	20～60歳代 男性	15%	19.9%	市民 健康 意識 調査	未把握				21.2%	市民 健康 意識 調査	D
		40～60歳代 女性	13%	17.9%	市民 健康 意識 調査	未把握				19.1%	市民 健康 意識 調査	D
	肥満児の減少	3歳児	減らす	14.0%	幼児 健康 診査	11%	3歳児 健康 診査 H16	新規	10.5 %		3歳 児健 康診 査 H16	A
日常生活における歩数の増加	[注：1日あたり平均歩数で1,000歩、歩く時間で10分、歩行距離で600～700m程度の増加に相当]	成人男性	9100歩以上	9078歩	歩数 調査	8291歩	歩数 調査			8220歩	歩数 調査	D
		成人女性	8500歩以上	8248歩	歩数 調査	8527歩	歩数 調査			8168歩	歩数 調査	D
健康のために食事に気をつけている人の増加		成人	75%以上	67.2%	市民 健康 意識 調査	76.7%	健康に 関する 意識 調査			76.2%	市民 健康 意識 調査	A
(2) 糖尿病検診と事後指導												
定期健康診断等糖尿病に関する健康診断受診者の増加		成人	増やす	61.6%	市民 健康 意識 調査	49.4 %	H16基 本健 康診 査			73.6%	市民 健康 意識 調査	A
糖尿病検診における異常所見者の事後指導の徹底		成人男性	85%	68.8%	市民 健康 意識 調査	未把握				67.5%	市民 健康 意識 調査	D
		成人女性	85%	60.6%	市民 健康 意識 調査	未把握				70.8%	市民 健康 意識 調査	A
(3) 糖尿病の治療継続と悪化防止												
血糖異常者で食事に気をつけている人の増加		成人	増やす	未把握		未把握		新規		77.1%	市民 健康 意識 調査	次
血糖異常者で意識的に体を動かしている人の増加	日常生活の中で身体を動かすことをいつもしている人	成人	増やす	未把握		未把握		新規		27.4%	市民 健康 意識 調査	次

7 糖尿病												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(4) 糖尿病有病者の動向(前述の生活改善による推計値)												
糖尿病有病者の減少		成人	減らす	5.3%	市民健康意識調査	12.6%	健康に関する意識調査			8.5%	市民健康意識調査	D
(5) 糖尿病合併症の減少												
糖尿病有病者に対する治療継続の指導を徹底	治療継続者	成人	継続の徹底	67.4%	市民健康意識調査	未把握				79.7%	市民健康意識調査	A
	治療中断者	成人		4.3%	市民健康意識調査					4.2%	市民健康意識調査	C

8 循環器病

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(1) 血圧低下のための目標												
適正体重を維持する人の増加	成人の肥満者 (BMI \geq 25.0) の減少	20～60歳代 男性	15%	19.9%	市民健康意識調査	31.5%	基本健康診査			21.2%	市民健康意識調査	D
		40～60歳代 女性	13%	17.9%	市民健康意識調査	16.7%	基本健康診査			19.1%	市民健康意識調査	D
	やせの者 (BMI $<$ 18.5) の減少	20歳代女性	15%以下	20.5%	市民健康意識調査	未把握				14.1%	市民健康意識調査	A
運動習慣者の増加	[注:運動習慣者:1回30分以上の運動を、週2回以上実施し、1年以上持続している人]	成人男性	20%以上	14.7%	市民健康意識調査	40%	健康に関する意識調査			45.6%	市民健康意識調査	A
		成人女性	20%以上	18.8%	市民健康意識調査	28.6%	健康に関する意識調査			35%	市民健康意識調査	A
成人の高血圧者 (140/90mmHg以上)の減少	成人男性	減らす	44.1%	基本健康診査	43.3%	H16基本健康診査						
			27.9%	市民健康意識調査	未把握			40.4%	市民健康意識調査	D		
	成人女性	減らす	35.6%	基本健康診査	37.1%	H16基本健康診査						
			17.5%	市民健康意識調査	未把握			28.6%	市民健康意識調査	D		

8 循環器病												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(2) たばこ対策の充実												
喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及（喫煙で心臓病、脳卒中にかかりやすくなると思う人の増加）	心臓病	成人	100%	48.2%	市民健康意識調査	未把握				52.3%	市民健康意識調査	B
	脳卒中	成人	100%	34.6%	市民健康意識調査	未把握				51.2%	市民健康意識調査	B
禁煙したい人の増加		喫煙者	増やす	未把握		未把握		新規		63.3%	市民健康意識調査	次
(3) 高脂血症、糖尿病は増加傾向の減少												
高脂血症者（血清総コレステロール値220mg/dl以上）の減少		成人男性	減らす	35.1%	基本健康診査	23.6%	H16基本健康診査			42.7%	市民健康意識調査	D
		成人女性		37.4%	基本健康診査	38.7%	H16基本健康診査			33.8%	市民健康意識調査	C
(4) 飲酒対策の充実												
1日に平均純アルコールで約60gを越え多量に飲酒する人の減少		成人男性	11%	14.4%	市民健康意識調査	未把握				14.7%	市民健康意識調査	C
		成人女性	2割以上の減少	0.9%	市民健康意識調査	未把握				3.9%	市民健康意識調査	D
		全体	6%	7.4%	市民健康意識調査	未把握				10.3%	市民健康意識調査	D
「節度ある適度な飲酒」の知識を理解している人の増加		成人	100%	68.7% (1～2合程度)	市民健康意識調査	66.2%	健康に関する意識調査			57.8%	市民健康意識調査	D
(5) 健康診断を受ける人の増加												
定期健康診査等の糖尿病、循環器病に関する健康診断受診者の増加		成人	増やす	61.6%	市民健康意識調査	44.8%	H16基本健康診査			73.6%	市民健康意識調査	A

9 がん												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規/削除	2009年	2010年	出典		
(1) たばこ対策の充実												
喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及(喫煙で以下の疾患にかかりやすくなると思う人の割合)	肺がん	成人	100%	93.6%	市民健康意識調査	未把握				93.7%	市民健康意識調査	C
	ぜんそく	成人	100%	66%	市民健康意識調査	未把握				69.4%	市民健康意識調査	B
	気管支炎	成人	100%	74.8%	市民健康意識調査	未把握				73.2%	市民健康意識調査	C
	胃潰瘍	成人	100%	29.3%	市民健康意識調査	未把握				27.7%	市民健康意識調査	D
未成年者の喫煙をなくす		15～19歳	なくす	8.6%	市民健康意識調査	7.8%	健康に関する意識調査			1.61%	市民健康意識調査	B
喫煙する人を減らす		成人男性	40%以下	48.7%	市民健康意識調査	38.4%	健康に関する意識調査			34.6%	市民健康意識調査	A
		成人女性	15%以下	18.9%	市民健康意識調査	8.8%	健康に関する意識調査			10.8%	市民健康意識調査	A
禁煙したい人の増加		喫煙者	増やす	未把握		未把握		新規		63.3%	市民健康意識調査	次
(2) 飲酒対策の充実												
1日に平均純アルコールで約60gを超え多量に飲酒する人の減少		成人男性	11%以下	14.4%	市民健康意識調査	未把握				14.7%	市民健康意識調査	C
		成人女性	2割以上の減少	0.9%	市民健康意識調査	未把握		項目の追加		3.9%	市民健康意識調査	D
		全体	6%以下	7.4%	基本健康診査問診票	未把握				10.3%	市民健康意識調査	D

9 がん												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規/削除	2009年	2010年	出典		
(3) がん検診の受診者の増加												
がん検診受診状況	胃がん検診	40歳以上	増やす	3622人	地域保健・老人保健事業報告	3796人	H16地域保健・老人保健事業報告	新規	5179人	40.2%	地域保健・老人保健事業報告/市民健康意識調査	A
	子宮頸がん検診	女性20歳以上	増やす	3786人	地域保健・老人保健事業報告	3653人	H16地域保健・老人保健事業報告	新規	2106人	30%	地域保健・老人保健事業報告/市民健康意識調査	D
	乳がん検診	女性30歳以上	増やす	2719人	地域保健・老人保健事業報告	2781人	H16地域保健・老人保健事業報告	新規	3334人	30.7%	地域保健・老人保健事業報告/市民健康意識調査	A
	肺がん検診	40歳以上	増やす	4258人	地域保健・老人保健事業報告	3988人	H16地域保健・老人保健事業報告	新規	5856人	28.2%	地域保健・老人保健事業報告/市民健康意識調査	A
	大腸がん検診	40歳以上	増やす	3407人	地域保健・老人保健事業報告	3675人	H16地域保健・老人保健事業報告	新規	6099人	32.2%	地域保健・老人保健事業報告/市民健康意識調査	A

9 がん												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17 の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(3) がん検診の受診者の増加												
部位別悪性新 生物死亡状況	胃がん	40歳以上	減らず	未把握		39人	保健 所事 業年 報	新規	34人		保健 所事 業年 報	A
	子宮がん	女性20歳 以上	減らず	未把握		5人	保健 所事 業年 報	新規	5人		保健 所事 業年 報	C
部位別悪性新 生物死亡状況	乳がん	女性30歳 以上	減らず	未把握		12人	保健 所事 業年 報	新規	13人		保健 所事 業年 報	C
	肺がん	40歳以上	減らず	未把握		39人	保健 所事 業年 報	新規	46人		保健 所事 業年 報	D
	大腸がん	40歳以上	減らず	未把握		11人	保健 所事 業年 報	新規	35人		保健 所事 業年 報	D

10 母子保健												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17の結果より)	出典	新規／削除	2009年	2010年	出典		
(1) 安心して妊娠、安全で快適な出産のできる環境づくり												
妊婦の就労環境整備に関する啓発		産婦	100%	未把握		未把握		調査対象の変更	22.3%		4か月アンケート	次
ハイリスク妊婦のフォロー体制の確立	妊娠15週以下(初期)での妊娠の届出率を増加	妊娠15週以下	100%	93.1%	母子健康手帳交付時の面接	90.9%	母子健康手帳交付時の面接		97.7%		母子健康手帳交付時の面接	B
	妊産婦死亡率の減少	妊産婦	現状維持	0%		0%	死亡届出状況		0%		死亡届出状況	A
	妊娠中の飲酒者をなくす	妊婦	なくす	未把握		1.4%	妊娠届出状況		0.3%		妊娠届出状況	B
	妊娠中の喫煙者をなくす	妊婦	なくす	15.7%	妊娠届出状況	6.5%	妊娠届出状況		2.3%		妊娠届出状況	B
	妊娠中の定期健康診査の未受診者をなくす	妊婦	なくす	0.6%	妊娠届出状況	0.1%	母子健康手帳産後交付数		0.01%		母子健康手帳産後交付数	B
	全出生数中の低体重児・極小低体重児を減少	低体重児	減少傾向へ	8.7%	船橋保健所事業年	8.5%	出生届出状況		9.1%		出生届出状況	D
		極小低体重児	減少へ	0.4%	船橋保健所事業年	0.3%	出生届出状況		0.5%		出生届出状況	D
妊娠中の不安を軽減できた妊婦の増加		産婦	増やす	未把握		未把握		新規	93.7%		4か月アンケート	次
(2) 子どもの健やかな成長、発達への支援												
子どもの発育・発達に関心のある保護者の増加		4か月児	増やす	88.8%	乳児健康相談、幼児健康診査受診率	87.7%	乳児健康相談、幼児健康診査受診率	新規	90.3%		乳児健康相談、幼児健康診査受診率	A
		10か月児	増やす	80.8%		80.7%		新規	84.9%			A
		1歳6か月児	増やす	90.4%		92.8%		新規	89.6%			C
		3歳児	増やす	87.5%		88.6%		新規	89.1%			A

10 母子保健

項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17 の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(2) 子どもの健やかな成長、発達への支援												
乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する啓発	乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合をなくす	4か月児	減らす	未把握	未把握	未把握		調査対象の変更	11.2%		4か月アンケート	次
子どもの事故防止対策に対する啓発	不慮の事故死亡率を減少	乳幼児	なくす	0%	船橋保健所事業年報	0%	死亡届出状況		0%		死亡届出状況	A
	事故防止対策を実施している家庭を増加	1歳6か月児	90%	未把握		97.8%	平成15年度1歳6か月児健康診査アンケート	96.1%		平成21年度1歳6か月児健康診査アンケート	A	
	誤飲防止											
	階段からの転落防止											
	浴槽への転落防止											
子どもだけを家に残さない 玄関から飛び出し防止												
予防接種に関する相談体制の充実	予防接種実施率を増加	1歳児までにBCC接種を終了(1.8歳で)	現状維持	98%	幼児健康診査	100%	予防接種予診票	2歳で調査	93.2%	幼児健康診査	D	
		1歳6か月までに三種混合のI期接種を終了(1.8歳で)	90%	87.5%	幼児健康診査	87.6%	予防接種予診票	2歳で調査	78.3%	幼児健康診査	D	
		1歳6か月までに麻疹の接種を終了(1.8歳で)	90%	83%	幼児健康診査	97%	予防接種予診票	2歳で調査	87%	幼児健康診査	B	
小児科医による診療が受けられる総合的な小児科医体制の整備	新生児死亡率、乳児死亡率を減少	乳幼児	減らす	0%	船橋保健所事業年報	0.9%	死亡届出状況		3.4%		死亡届出状況	D
	小児科のかかりつけ医をもつ家庭の割合を増加	1歳6か月児	100%	未把握		78.2%	平成15年度調査		54.5%		1歳6か月児健康診査票	D
午前中に活力ある生活を送れる子どもを増やす		1歳6か月児	増やす	84.6%	1歳6か月児健康診査票	64.6%	1歳6か月児健康診査票	新規	92.4%		1歳6か月児健康診査票	A
幼児の肥満減少		3歳児	減少	14.0%	3歳児健康診査	11.0%	3歳児健康診査	新規	10.5%		3歳児健康診査	A

10 母子保健												
項目	対象	目標値	計画策定時の状況		中間評価			最終評価			達成度	
			2002年	出典	中間評価 (H16・H17 の結果より)	出典	新規 / 削除	2009年	2010年	出典		
(2) 子どもの健やかな成長、発達への支援												
自分の気持ちを伝えられる子どもの増加		思春期	増やす	未把握		未把握		新規		62.1%	H22 思春期アンケート	次
自分らしく生きる力を持つ子どもの増加		思春期	増やす	未把握		未把握		新規		42.2%	H22 思春期アンケート	次
(3) ゆとりある育児への支援												
子育て家庭に対する相談体制の充実	育児について相談相手がいる母親を増加	4か月児の母	100%	96.6%	乳児健康相談	95.4%	乳児健康相談		95.5%		乳児健康相談	C
		1歳6か月児の母	100%	97.9%	幼児健康診査	98.1%	幼児健康診査		99%		1歳6か月児健康診査票	B
子育て家庭に対する支援体制の充実	育児に参加する父親・協力者を増加	1歳6か月児の親	増やす	77.6%	母子保健計画	未把握			98.3%		1歳6か月児健康診査票	A
育児中の母の孤立の減少		乳児をもつ母	減らす	16.4%	保健推進員乳児訪問	21.9%	保健推進員乳児訪問	新規	0.2%		保健推進員乳児訪問	A
育児仲間がいる母の増加		乳児をもつ母	増やす	44.3%	新米ママの会参加者	66.5%	新米ママの会参加者	新規	75.5%		乳児健康相談アンケート	A
出産・子育てを見通しを持って行える妊婦の増加		初産婦	増やす	未把握	4か月健康相談アンケート	未把握		新規	77.8%		4か月健康相談アンケート	次
絵本を通して子どもとのかかわりを楽しめる親の増加		ブックスタート事業参加者	増やす	未把握	10か月健康相談アンケート	未把握		新規	96.7%		10か月健康相談アンケート	次



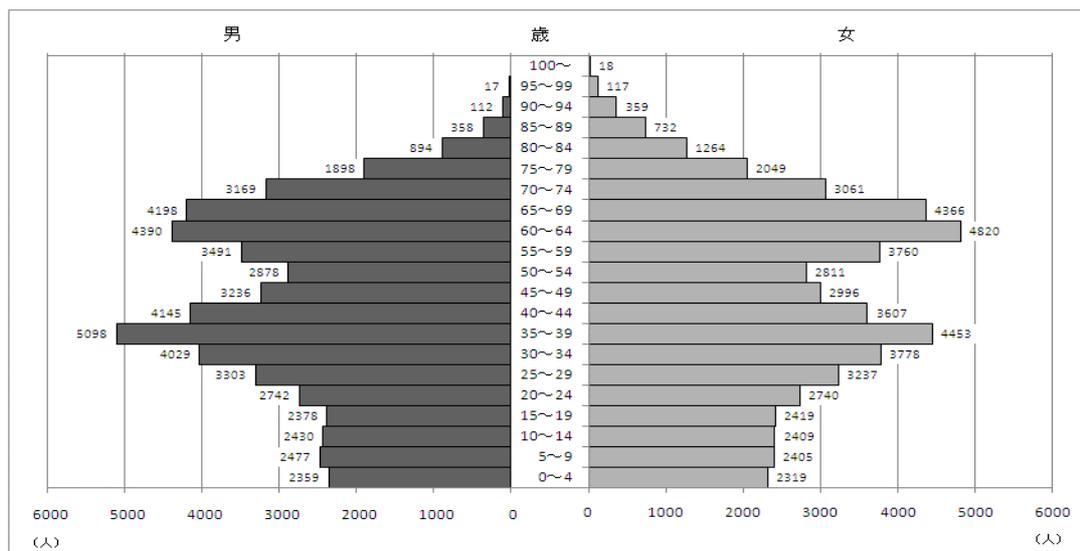
統計からみる鎌ヶ谷市の健康実態

I 超高齢社会の到来

鎌ケ谷市の人口構造は、35歳から39歳、55歳から69歳の人口割合が高い2つの山が見られます。特に世代別人口の推移からも分かるように、65歳以上の老年人口が急速に増加し、高齢化が着実に進んでいます（図1、図2）。

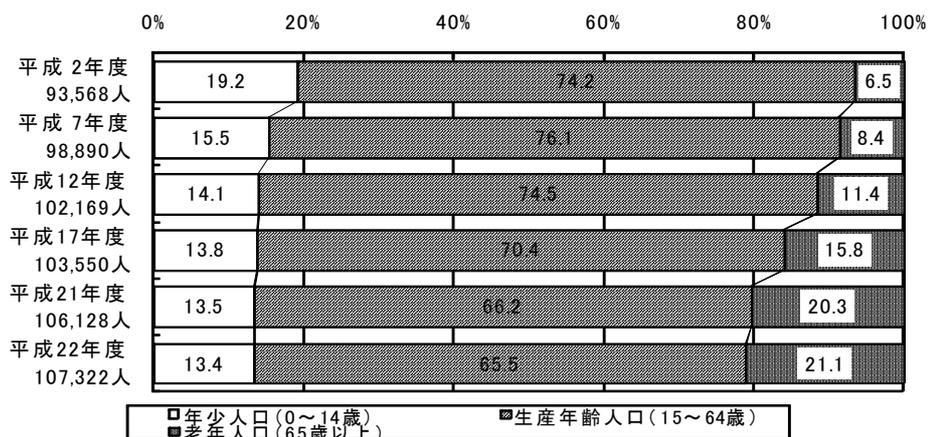
平成22年現在、鎌ケ谷市人口における高齢者（65歳以上）割合はすでに21.1%であり、推計¹より早く高齢化が進んでいます。

図1：鎌ケ谷市の人口ピラミッド



統計かまがや（平成22年4月1日現在）

図2：鎌ケ谷市人口構成の推移



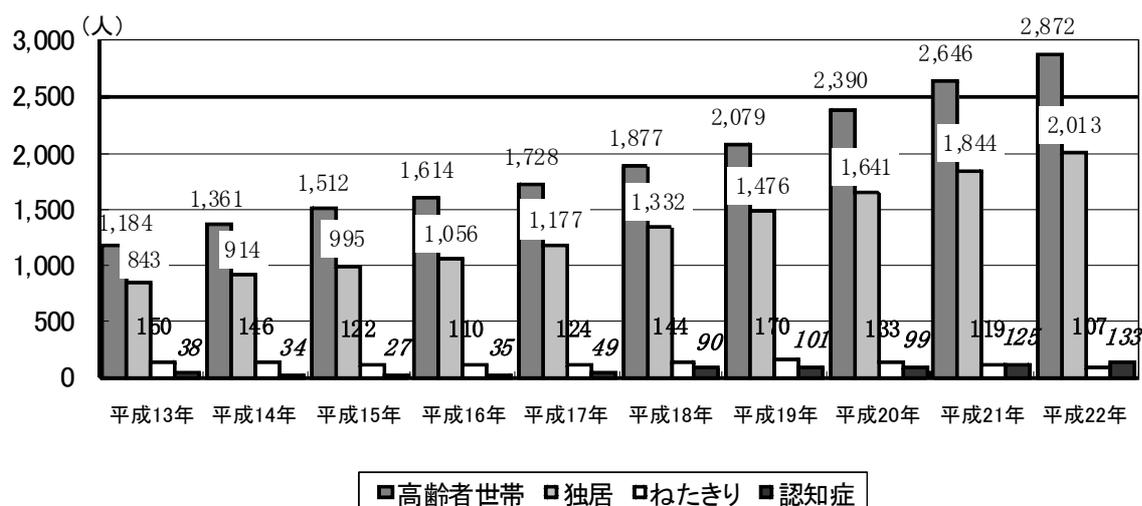
統計かまがや（平成22年4月1日現在）

¹推計…平成13年度における鎌ケ谷市人口の推計では、平成22年度の高齢者（65歳以上）割合は19.0%とされていた。

II 要介護者の急増

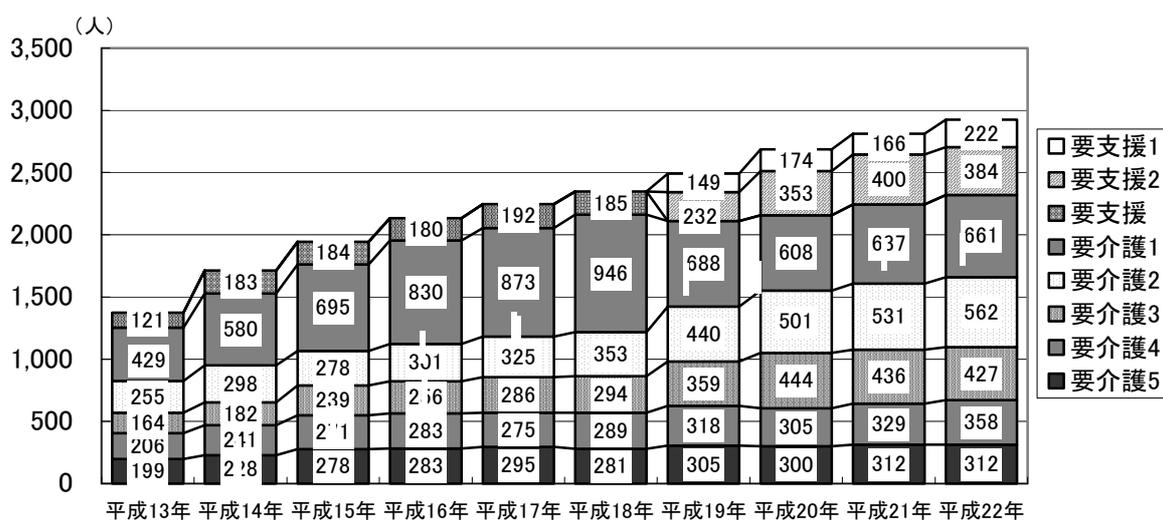
高齢社会の到来とともに、高齢者世帯²、独居の増加や認知症等により介護が必要となる人たちの増加がみられます（図3）。団塊の世代が、60歳を迎えることになり、今後ますます病気や介護による負担が極めて大きな問題となると考えられます。実際に要介護認定者は増え続け、要介護度別でみると、軽度者（要介護1、2）の割合が高くなってきています（図4）。

図3：鎌ヶ谷市高齢者世帯及び65歳以上の独居、ねたきり、認知症による在宅療養者の推移



鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定委員会 平成22年5月

図4：鎌ヶ谷市要介護者の状況



鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定委員会 平成22年5月

²高齢者世帯…とともに65歳以上の世帯、および18歳未満がいる世帯。

Ⅲ 国・県より「やや高めの出生率」と「低めの死亡率」

平成 20 年の出生率は 9.1 であり、千葉県 8.7、国 8.7 に比べてやや高く、死亡率は 7.0 で、千葉県 7.8、国 9.1 と比較して低い状態にあると言えます。新生児死亡³は、平成 13 年以降、16、18 年以外でみられ、特に平成 19 年は最も多くなりました。周産期死亡⁴は平成 17 年にはなくなりましたが、18 年以降再びみられるようになり、平成 20 年は 1.0 で、千葉県 4.0、国 4.3 より低い状態となりました。また、出生数に占める低体重児⁵の割合は、横ばい状態が続き、平成 20 年においては、県より高く国とほぼ横並びになりました（表 1）。

表 1：人口動態

	出生数 (人口千対)	低体重児 (全出生数対)	死亡 (人口千対)	乳児死亡 (人口千対)	新生児死亡 (出生千対)	周産期死亡 (出産千対)
平成 12 年	984 (9.6)	88 (8.9)	522 (5.1)	0	0	4 (4.3)
平成 13 年	981 (9.5)	92 (9.4)	578 (5.6)	5 (5.1)	2 (2.0)	7 (7.1)
平成 14 年	985 (9.5)	86 (8.7)	588 (5.7)	3 (3.0)	3 (3.0)	6 (6.1)
平成 15 年	952 (9.2)	81 (8.5)	637 (6.2)	3 (3.2)	1 (1.1)	5 (5.2)
平成 16 年	908 (8.8)	89 (9.8)	626 (6.0)	3 (3.3)	0	3 (3.3)
平成 17 年	884 (8.6)	75 (8.5)	662 (6.4)	6 (6.8)	2 (2.3)	0
平成 18 年	922 (8.9)	68 (7.4)	687 (6.6)	2 (2.2)	0	9 (9.7)
平成 19 年	853 (8.2)	79 (9.3)	676 (6.5)	9 (10.6)	4 (4.7)	4 (4.7)
平成 20 年	958 (9.1)	91 (9.5)	731 (7.0)	6 (6.3)	1 (1.0)	1 (1.0)
千葉県 (H20)	8.7	9.0	7.8	2.5	1.4	4.0
国 (H20)	8.7	9.6	9.1	2.6	1.5	4.3

習志野保健所事業年報 平成 20 年

³ 新生児死亡…生後 4 週間未満の死亡。

⁴ 周産期死亡…妊娠 22 週以後の死産と生後 1 週間未満の早期新生児死亡を合わせたもの。

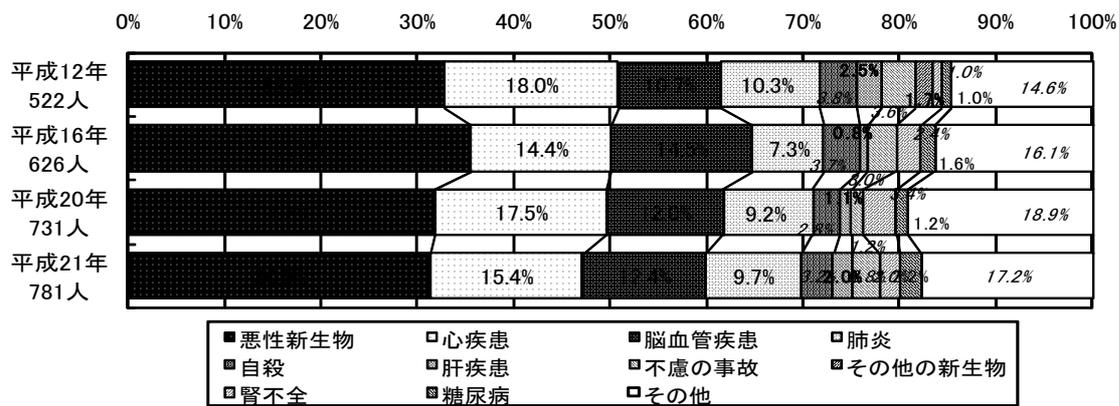
⁵ 低体重児…生下時体重が 2500 g 未満の児。

IV 変わらない死亡原因～三大生活習慣病

平成 21 年の鎌ヶ谷市の死亡を原因別に見ると、第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は脳血管疾患、第 4 位は肺炎、第 5 位は自殺となっています。この主要死因に関する順位については、10 年前とほとんど変わっていません。

相変わらず悪性新生物、心疾患、脳血管疾患という三大生活習慣病だけで全死亡の 60% を占めていることから、生活習慣病の予防が引き続き大きな課題となっています（図 5）。

図 5：平成 12・16・20・21 年主要死因割合



船橋保健所事業年報 平成 13 年 / 習志野保健所事業年報 平成 21 年

V 男性は悪性新生物、女性は動脈硬化性疾患が多い

主要三大死因の男女の比率をみると、男性は女性に比べ悪性新生物が 1.3 倍、女性は男性に比べ動脈硬化性疾患が 1.1 倍多くみられます。また、5 位までの死亡者数を見ると、いずれも男性は女性よりも多く、約 1.1 倍になっています（表 2）。

表 2：平成 17・21 年男女別主要死因による死亡者数

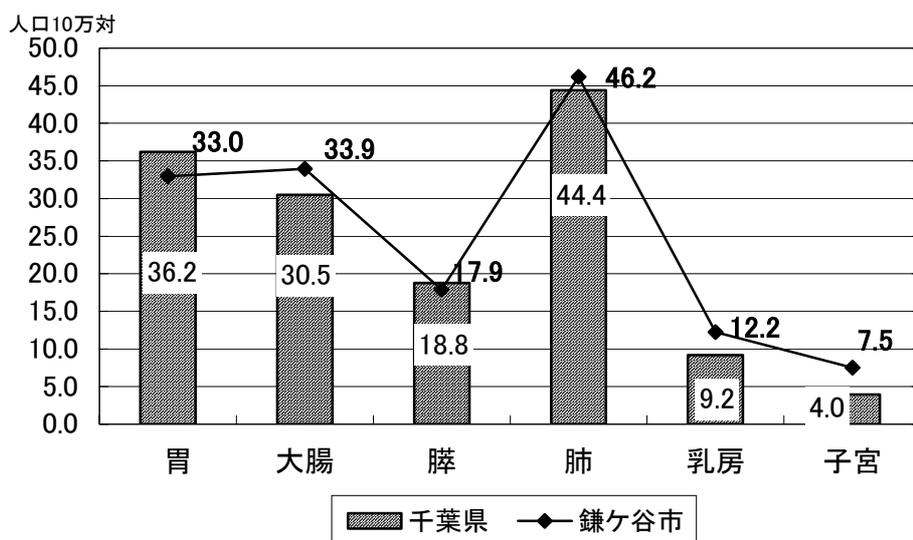
	男		女	
	平成 17 年	平成 21 年	平成 17 年	平成 21 年
悪性新生物	140	153	81	85
脳血管疾患	50	55	41	42
心疾患	53	66	37	54
肺炎	27	43	19	33
自殺	12	18	11	7
計(人)	282	335	189	221

習志野保健所事業年報 平成 21 年

VI 悪性新生物の死亡状況

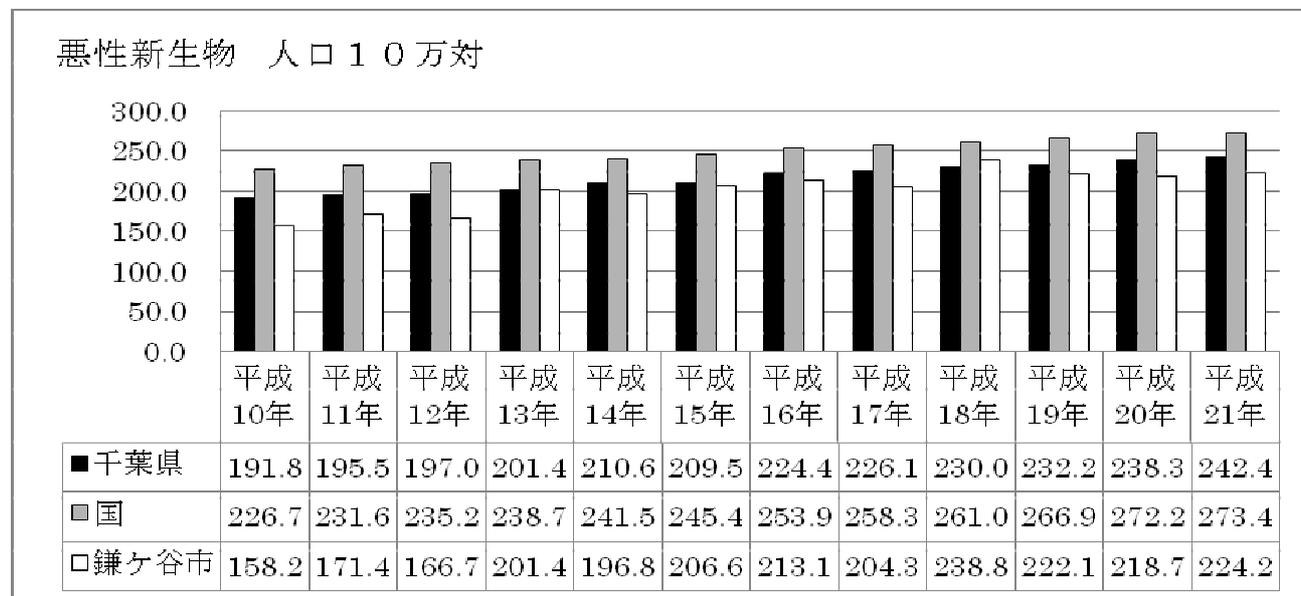
悪性新生物の死亡状況では、国より低いですが少しずつ増え、県とほぼ同じです。また、臓器別にみると、胃、膵においては県に比べやや少ないですが、大腸、肺においては、やや多くなっており、女性の乳がん、子宮がんは県全体と比べて多くなっています。

図6：悪性新生物部位別死亡状況



習志野保健所衛生統計 平成21年

図7：主要死因年次推移1



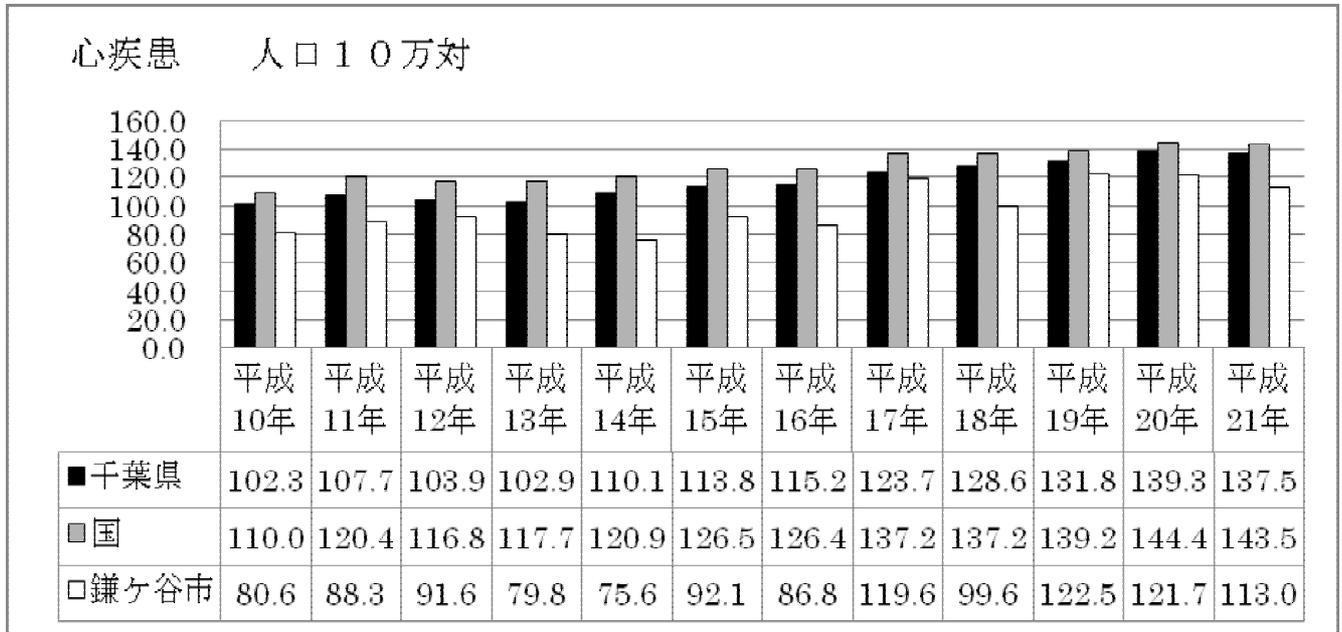
船橋保健所事業年報 平成14年

習志野保健所事業年報 平成21年

VII 循環器疾患の死亡状況

心疾患では国・県より低いですが、平成17年より増加傾向にあります。また、脳血管疾患は国より低く、横ばい状況です。

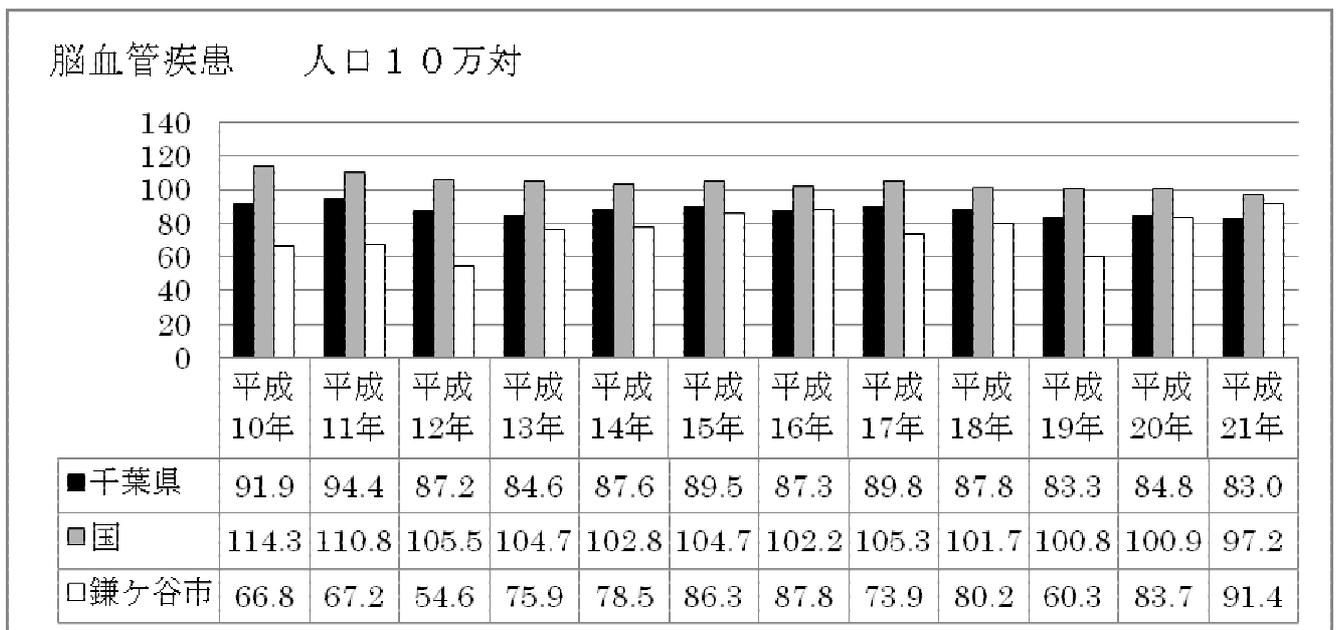
図7：主要死因年次推移2



船橋保健所事業年報 平成14年

習志野保健所事業年報 平成21年

図7：主要死因年次推移3



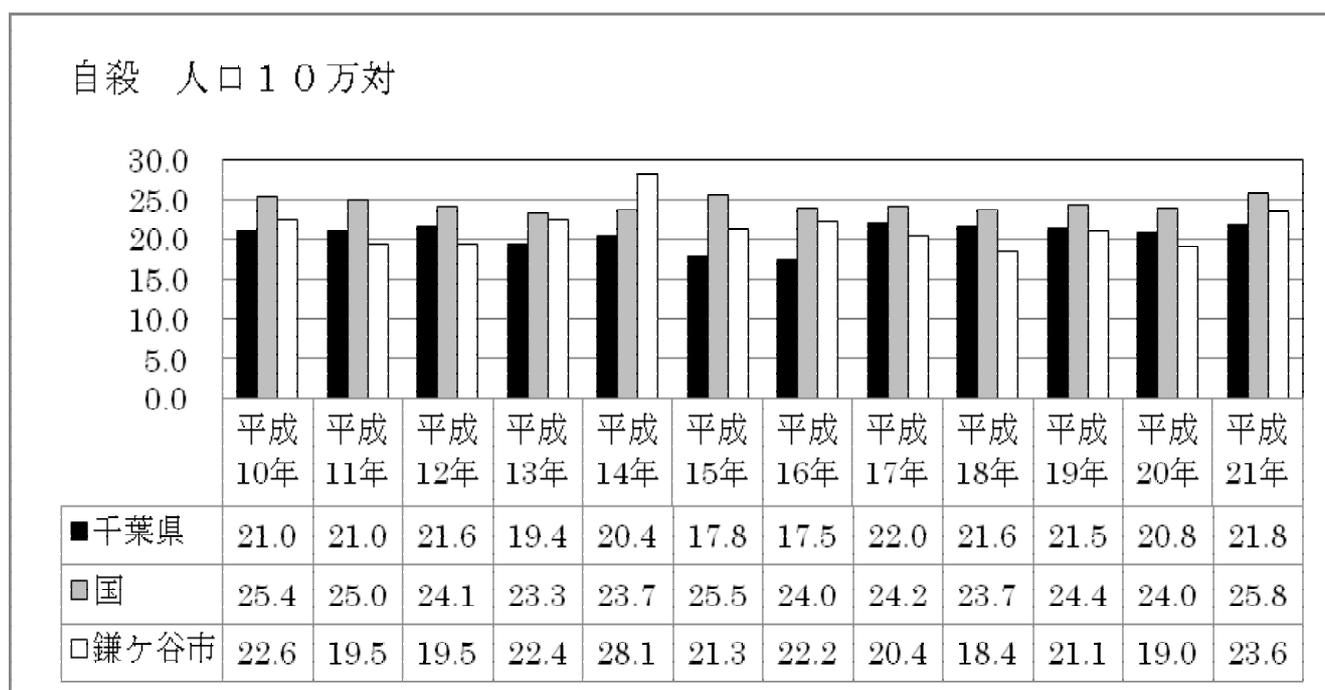
船橋保健所事業年報 平成14年

習志野保健所事業年報 平成21年

VIII 増加のみられる男性の自殺

自殺による死亡は平成 14 年をピークとし、その後は横ばいです。しかし、壮年期以降の男性の自殺が目立ちます。平成 14 年～16 年では壮年期、中年期の男性の自殺が多く、平成 19 年～21 年ではさらに高齢期においても増加がみられました(表 3)。

図 7：主要死因年次推移 4



船橋保健所事業年報 平成 14 年／習志野保健所事業年報 平成 21 年

表 3：年齢別「自殺」平成 14 年～16 年、平成 19 年～21 年

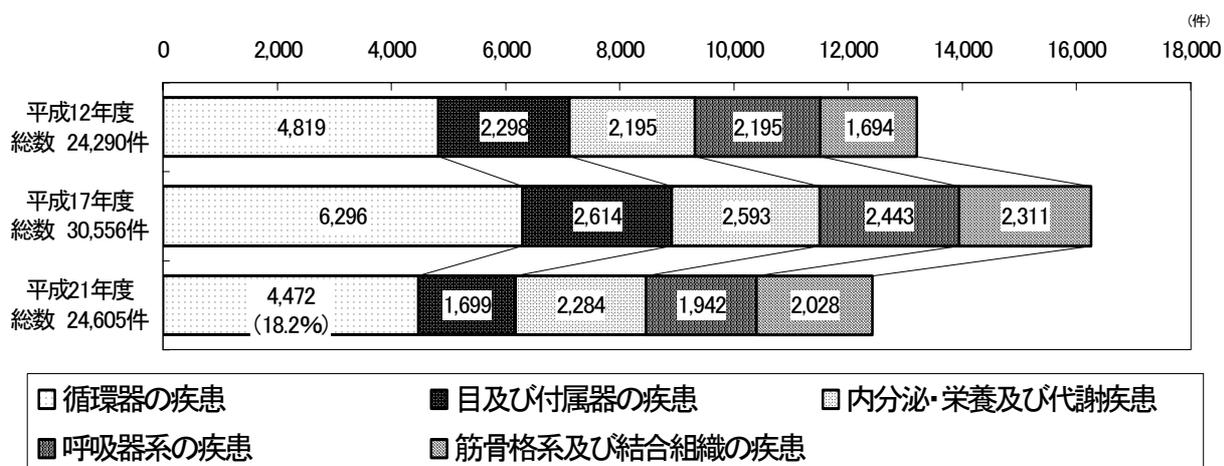
	幼・少年期 (0～14 歳)		青年期 (15～24 歳)		壮年期 (25～44 歳)		中年期 (45～65 歳)		高齢期 (65 歳～)		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
平成 14 年～16 年	-	-	1	4	13	9	26	6	7	8	74
平成 17 年～18 年	-	-	0	3	6	3	11	4	4	2	33
平成 19 年～21 年	-	-	4	2	15	4	16	6	12	8	67

平成 14～16 年 船橋保健所報告／平成 17～18 年 鎌ヶ谷市調査／平成 19～21 年 習志野保健所報告

Ⅸ 増加する医療費

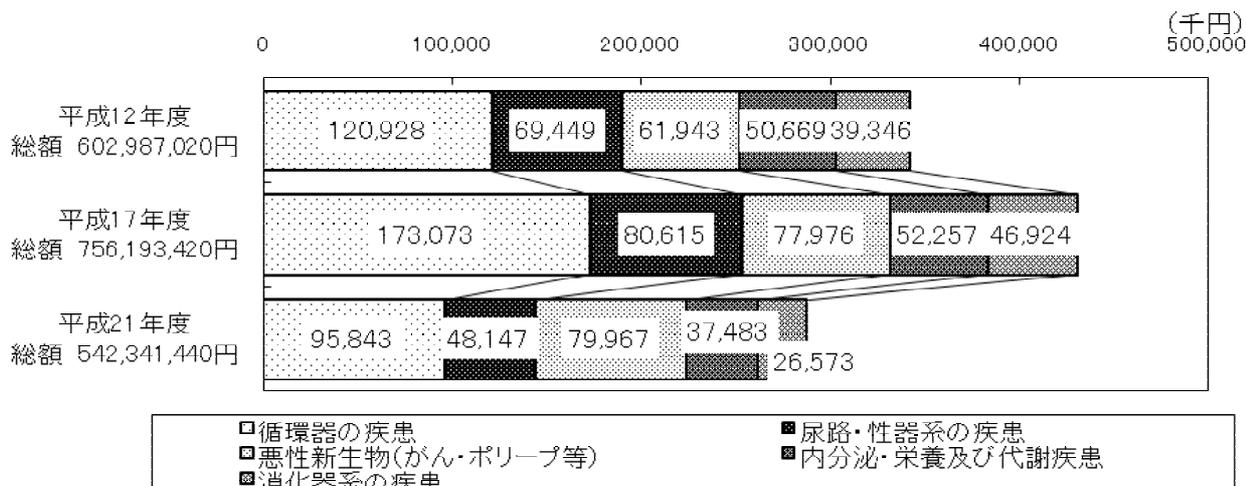
鎌ヶ谷市の主な疾患の受療状況については、平成12年度に比べ平成17年度には、疾病群別件数、費用のどちらにおいても増加しています。また、循環器の疾患に占める割合が、件数・費用ともに最も多くなっています(図8・9)。平成21年度には一見して減少しているかのように見えますが、それは平成20年4月より75歳以上において、「後期高齢者医療保険」が開始されたためです。国民健康保険の統計では、1人当たり医療費が毎年増加しています(図10)。

図8：主要（5位まで）疾病群別件数



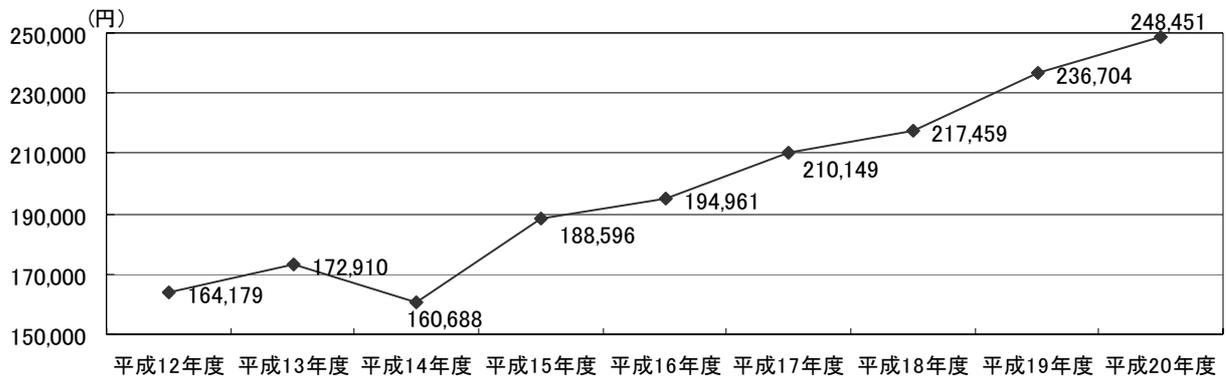
国民健康保険の概要 平成21年度

図9：主要（5位まで）疾病群別費用



国民健康保険の概要 平成21年度

図 10：国民医療費（1人当たりの医療費）



国民健康保険の概要 平成 21 年度

X がん検診の受診者は増加している

女性特有のがん検診を除き、概ね受診者数は毎年増加しています。受診者数の増加に伴って要精検者数も増加していますが、がんと診断された人の率は概ね一定しています。しかし、一部のがんについては要精検率が高い状況です。

胃がん、肺がん、大腸がん検診について、平成 20 年度から 3 つの検診を 1 日で行うセット検診を導入したため、平成 20 年度から受診者数が大幅に増加しています。

乳がん検診は、平成 16 年度までは視触診の結果、医師が必要と判断した人だけがマンモグラフィの対象となっていました。しかし平成 17 年度からは 40 歳以上の人が無条件にマンモグラフィの対象となったため、受診者数と要精検者数が大幅に増加しました。また、平成 20 年度からは視触診とマンモグラフィを隔年実施としたことから、受診者数と要精検者数が減少しました。

表4：各種がん検診受診状況

			平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
胃がん	受診者	人	3,622	3,829	3,774	3,796	3,974	4,019	4,085	5,148	5,191
	要精検者	人	484	499	591	527	541	491	577	789	839
	要精検率	%	13.4	13.0	15.7	13.9	13.6	12.2	14.1	15.3	16.2
	がんと診断 された者	人	4	4	1	3	8	6	10	5	7
大腸がん	受診者	人	3,407	3,636	3,653	3,675	4,000	4,136	4,360	5,851	6,099
	要精検者	人	161	180	235	190	364	295	659	579	473
	要精検率	%	4.7	5.0	6.4	5.2	9.1	7.1	15.1	9.9	7.8
	がんと診断 された者	人	4	9	6	6	10	6	18	15	5
肺がん	受診者	人	4,258	4,480	4,182	3,990	5,000	4,422	4,593	5,611	5,855
	要精検者	人	50	17	19	24	77	106	121	137	138
	要精検率	%	1.2	0.4	0.5	0.6	1.5	2.4	2.6	2.4	2.4
	がんと診断 された者	人	0	2	1	0	2	2	3	8	3
子宮がん	受診者	人	3,786	3,863	3,716	3,653	2,497	2,437	2,574	2,590	3,113
	要精検者	人	27	29	30	19	12	20	19	12	23
	要精検率	%	7.1	0.8	0.8	0.5	0.5	0.8	0.7	0.5	0.7
	がんと診断 された者	人	3	0	0	0	1	2	1	1	1
乳がん	受診者	人	2,719	2,825	2,763	2,288	3,204	3,275	3,633	3,339	4,197
	要精検者	人	67	79	91	52	281	242	296	146	242
	要精検率	%	2.5	2.8	3.3	2.3	8.8	7.4	8.2	4.4	5.8
	がんと診断 された者	人	4	4	1	2	4	4	5	2	4

図 11： 胃がん・大腸がん・肺がん検診の状況

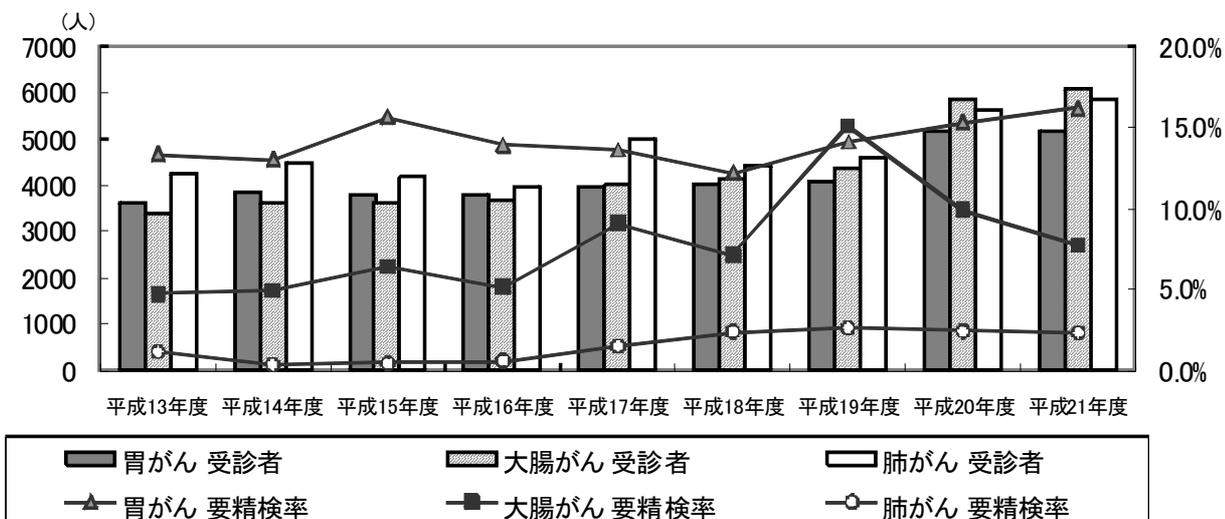
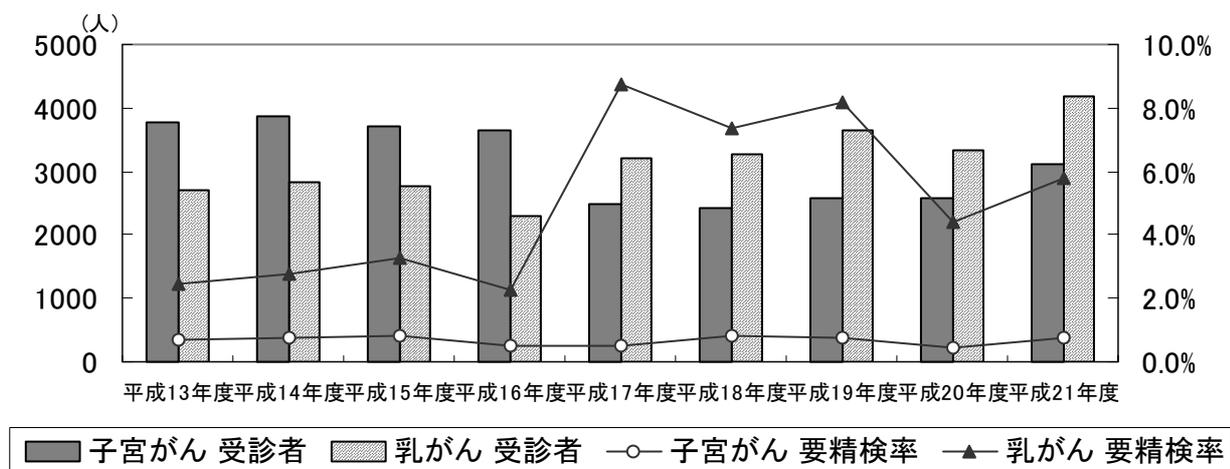


図 12： 子宮がん・乳がん検診の状況



XI 基本健康診査の受診状況と結果（平成19年度まで）

○市の基本健康診査実施は平成19年度まで～年々受診者が増加していた～

受診者数は高齢社会の進展に伴い毎年増加していました。それぞれの検査項目の要指導者及び要医療者の結果割合は、ほぼ一定しており、男性の傾向として、肥満（太りぎみ）、高血糖、高血圧の比率が高くなっていました。また、女性の傾向として、高脂血症の比率が高くなっていました（表5）。

○平成20年度以降は、各保険者が実施する特定健診に移行

平成18年6月医療制度改革関連法の成立に伴い、各保険者に特定健診が義務づけられました。そのため、平成19年度まで市が実施していた基本健康診査は中止となりました。

表5：基本健康診査の受診者数と検査結果

(人)

		受診者数	血圧		総コレステロール		糖尿病		肥満	
			要指導	要医療	要指導	要医療	要指導	要医療	太り気味	太りすぎ
平成13年度	男	3,742	342	231	300	109	433	604	842	588
	女	7,252	476	234	1,254	467	427	502	1,209	1,046
平成14年度	男	4,323	418	286	414	135	453	735	675	1,174
	女	7,870	620	258	1,480	669	457	610	919	1,982
平成15年度	男	4,423	464	228	369	108	494	799	663	1,179
	女	7,885	608	254	1,379	538	559	704	867	3,023
平成16年度	男	4,714	439	80	598	509	554	785	684	1,259
	女	8,156	679	113	1,446	686	500	704	845	2,058
平成17年度	男	5,002	1,573	543	2,140	577	598	956	771	1,354
	女	8,678	2,294	708	3,381	1,091	714	781	904	2,174
平成18年度	男	5,294	1,661	537	2,313	656	604	1,007	858	1,381
	女	9,015	2,305	773	3,625	1,176	736	863	1,051	2,170
平成19年度	男	5,034	1,546	510	2,259	619	595	917		1,474
	女	8,775	2,401	608	3,566	1,162	716	789		2,214

各年度老人保健事業報告

図 13 : 血圧

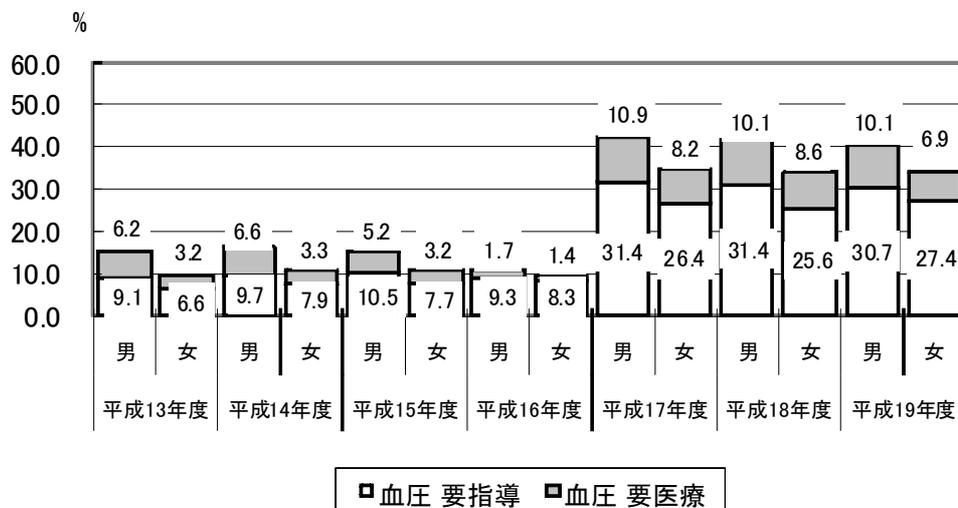


図 14 : 総コレステロール

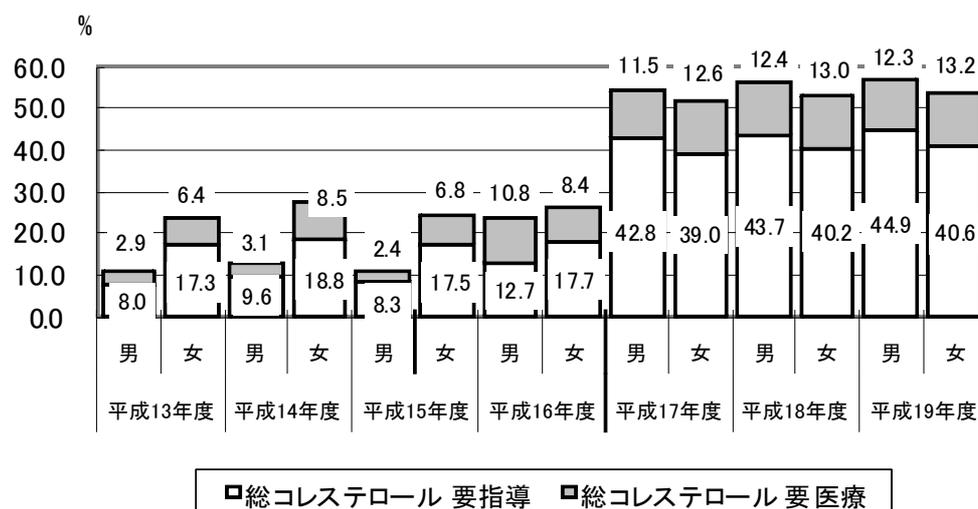


図 15 : 血糖

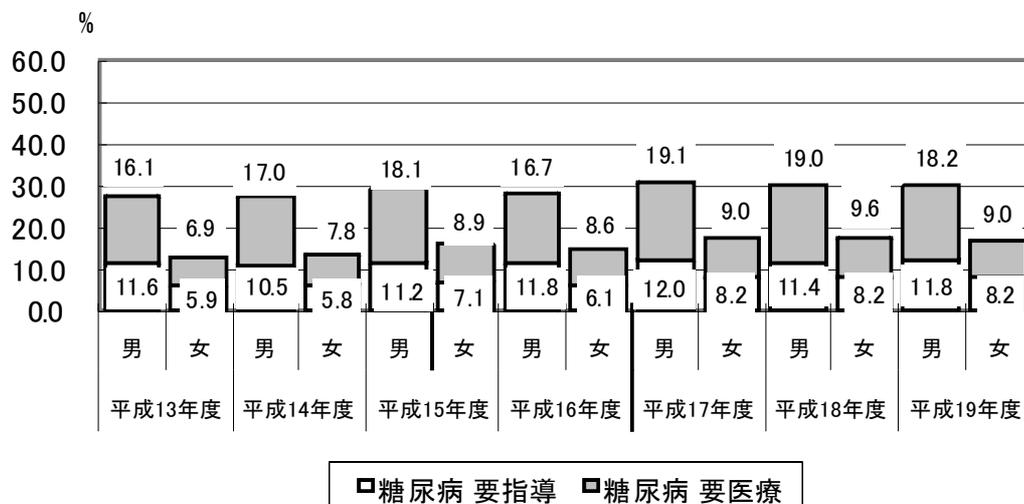
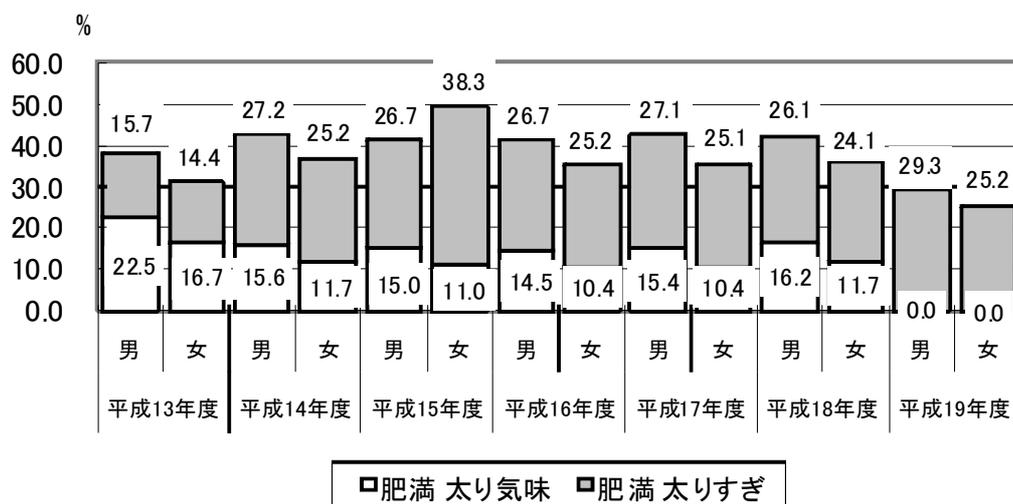


図 16 : 肥満



XII 特定健康診査・特定保健指導の状況（平成20年度より）

平成21年・平成22年の特定保健指導の対象者を項目別にみると、男女ともHbA1cで保健指導の対象になった場合が最も多く、半数以上の人にみられた。また、要医療と診断された項目で最も多かったものは血圧であった。

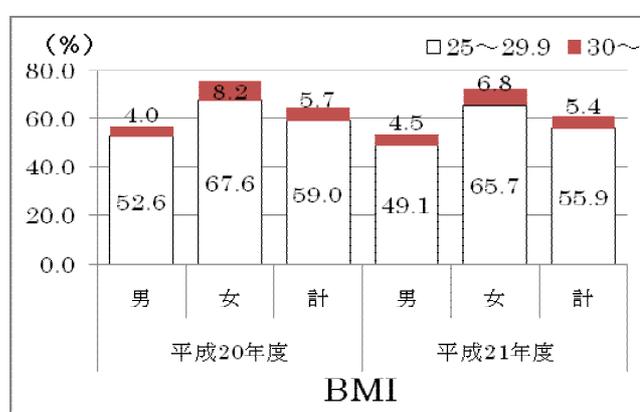
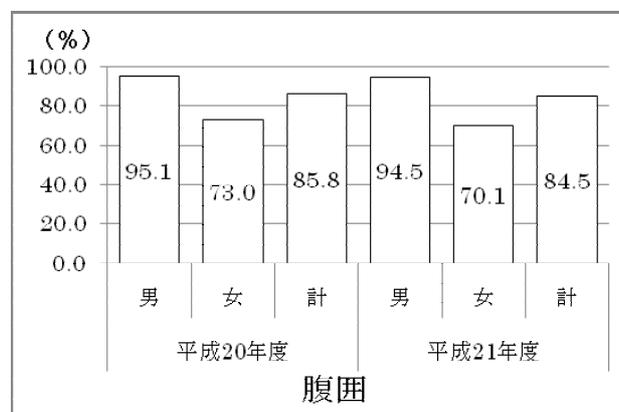
表6： 特定保健指導対象者数と健診結果

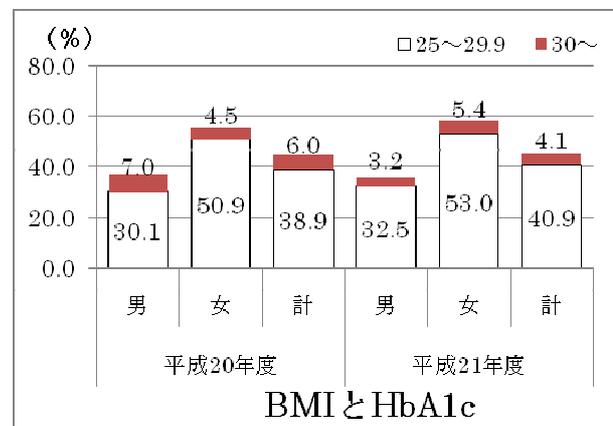
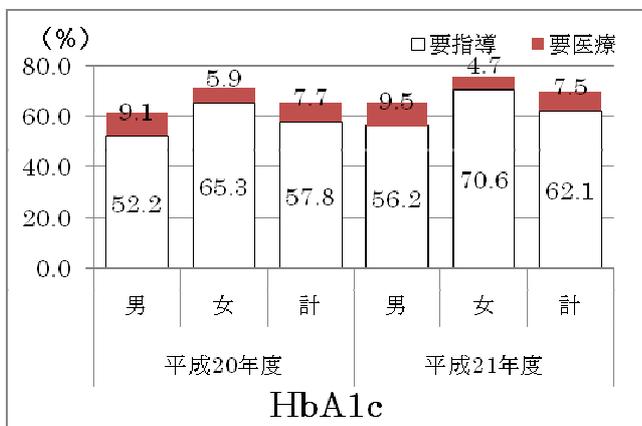
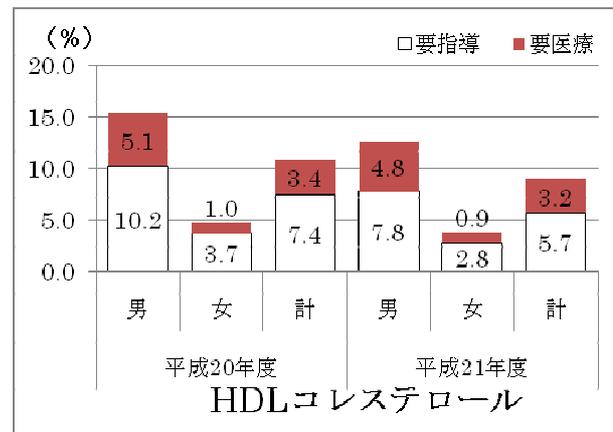
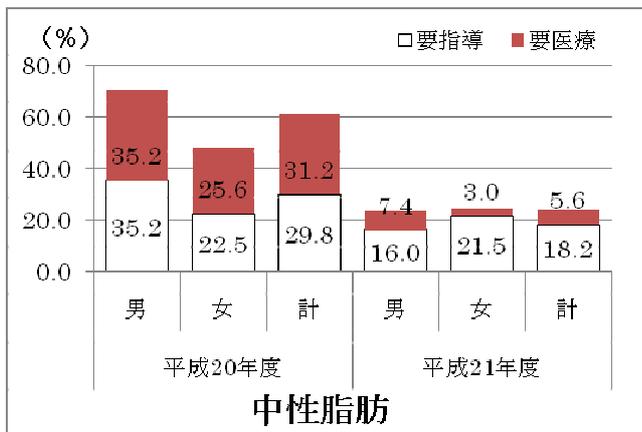
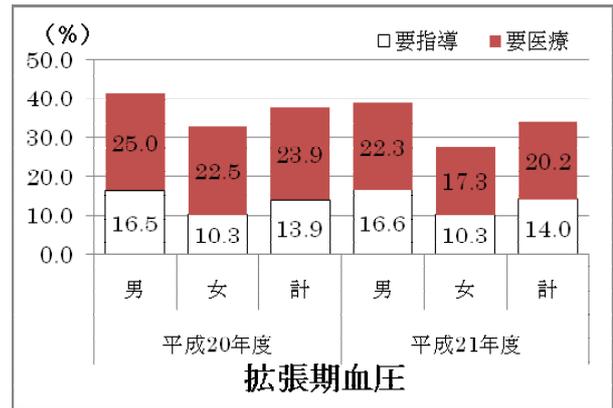
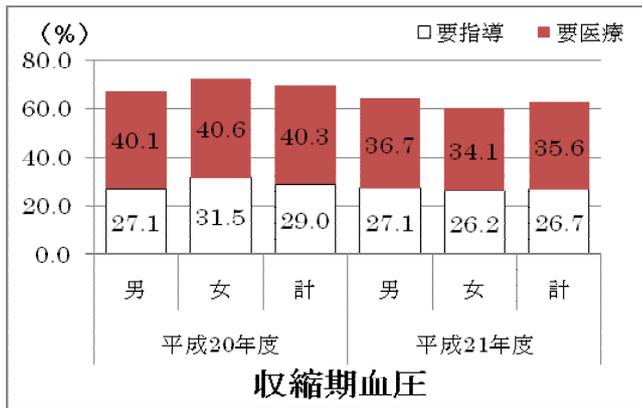
(人)

		保健指導 対象者数	腹囲	BMI		収縮期血圧		拡張期血圧	
				25～29.9	30～	要指導	要医療	要指導	要医療
平成 20 年度	男	783	745	412	31	212	314	129	196
	女	574	419	388	47	181	233	59	129
	計	1,357	1,164	800	78	393	547	188	325
平成 21 年度	男	619	585	304	28	168	227	103	138
	女	428	300	281	29	112	146	44	74
	計	1,047	885	585	57	280	373	147	212

(人)

		中性脂肪		HDL コレステロール		HbA1c		BMIと糖	
		要指導	要医療	要指導	要医療	要指導	要医療	25～29.9	30～
平成 20 年度	男	276	276	80	40	409	71	236	55
	女	129	147	21	6	375	34	292	26
	計	405	423	101	46	784	105	528	81
平成 21 年度	男	99	46	48	30	348	59	201	20
	女	92	13	12	4	302	20	227	23
	計	191	59	60	34	650	79	428	43







第一次計画評価・第二次計画策定 のための各種調査結果

I 市民健康意識調査結果の概要

1 目的

市民の健康に関する意識や行動、今後の健康づくり活動に関する意見などを総合的に把握し、「第一次計画」の達成状況の評価と見直し、および今後の健康づくりのいっそうの推進のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の方法

- (1) 調査は記入式のアンケート調査による。
- (2) 対象市民に郵送配布、郵送回収法。
- (3) 調査項目…基本属性、食生活、身体活動・運動、休養・心の健康、たばこ、アルコール、糖尿病・循環器系の病気、がん、歯と口、感染症予防等
- (4) 調査時期…平成 22 年 5 月 10 日～5 月 24 日

3 回収状況

- (1) 調査対象者 平成 22 年 4 月 21 日現在鎌ケ谷市に居住する 15 歳以上の市民 3,000 人(住民基本台帳からの無作為抽出法)
- (2) 有効回収数 1,464 人(回収率 48.8%)

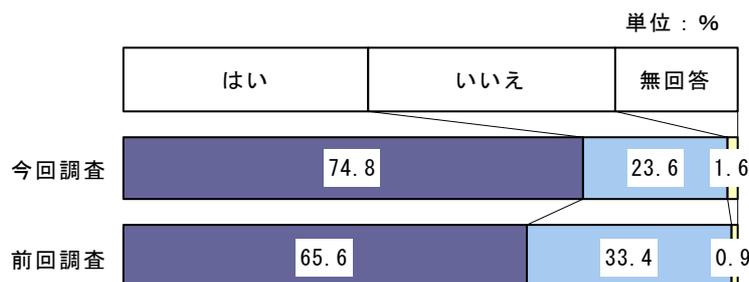
4 調査結果の概要

全体的に「食事」や「運動」など健康づくりに対する意識は向上している。しかし「ストレスなど心の悩み」が増え、「適度な飲酒量を知っている人」や「働き盛りの歩数」は減少し低下した。また、身体の状態を示す項目では「メタボリックシンドローム」が増加し「歯の本数」が減少するなど悪化している。

なお本調査の詳細は「鎌ケ谷市民健康意識調査－調査報告書」(H22、10)で公表している。

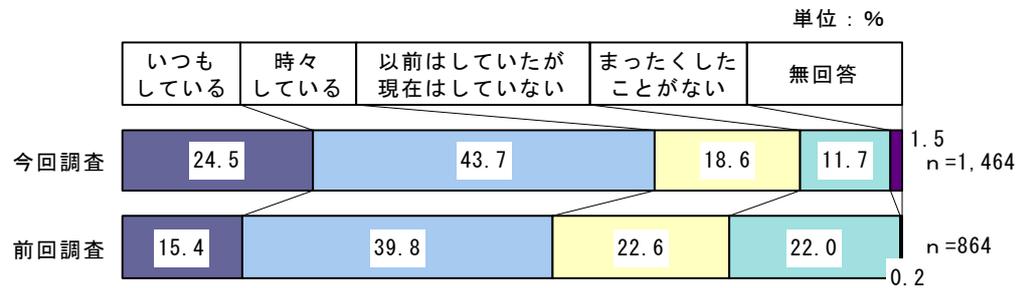
- (1) 向上した項目
 - 1) 栄養・食生活

問「健康のために食事に気をつけているか」



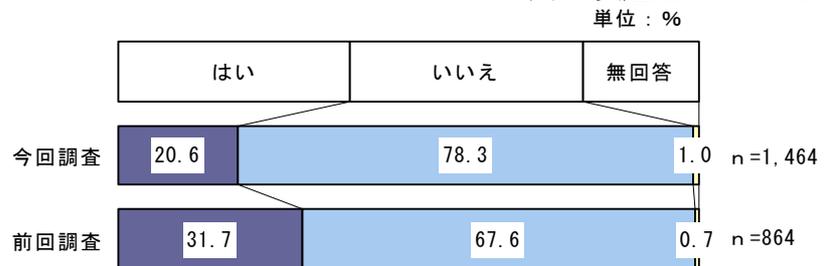
2) 身体活動・運動

問「日頃から日常生活の中で意識的に身体を動かすなどの運動をしているか」



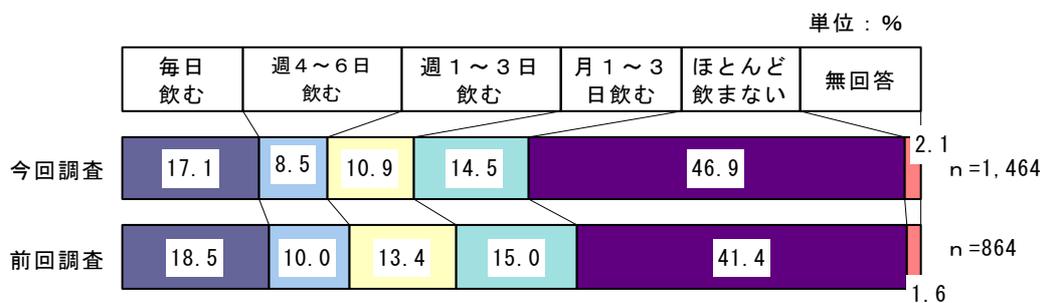
3) たばこ

問「喫煙をしているか」



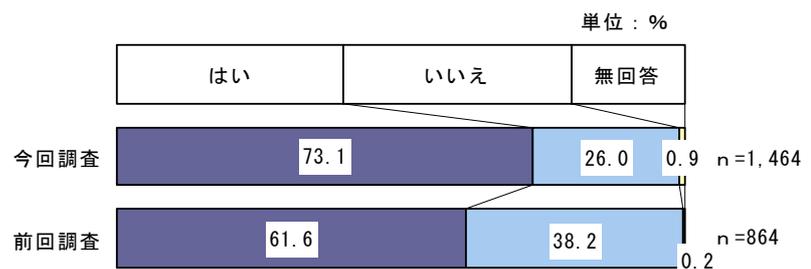
4) アルコール

問「どれくらいの頻度で飲酒をしているか」



5) 糖尿病・循環器病

問「毎年健康診断を受けているか」



6) がん

問「毎年がん検診を受けているか」

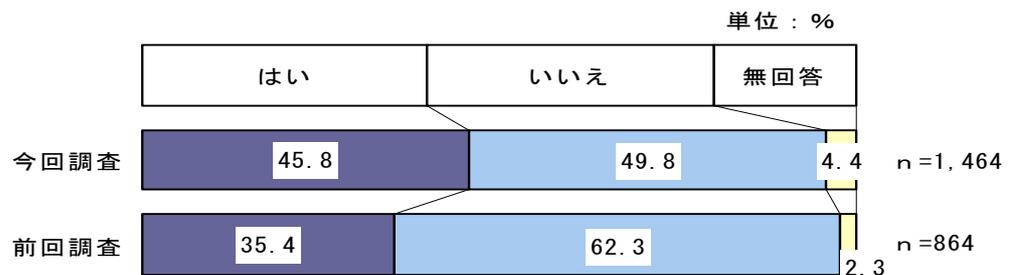
【前回調査との比較】

* 「はい」と回答した割合

項目	今回調査回答割合	前回調査回答割合
胃がん	40.2%	35.6%
肺がん	28.2%	22.0%
大腸がん	32.2%	28.7%
子宮がん	28.8%	27.9%
乳がん	29.4%	21.8%

7) 歯の健康

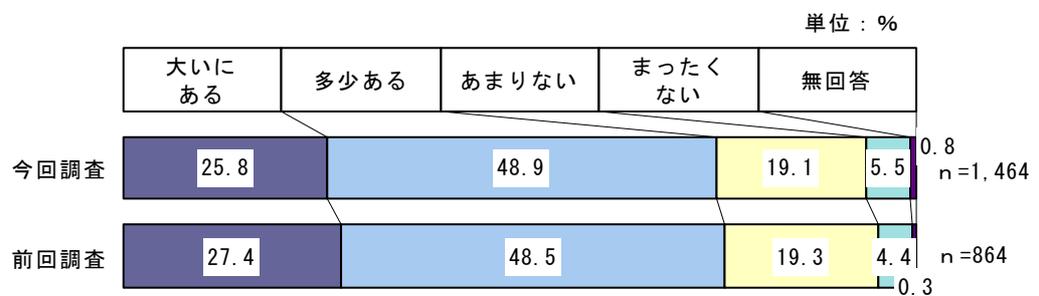
問「歯の健康のため毎年歯科医院で歯石除去や歯面清掃（クリーニング）を受けているか」



(2) 低下した項目

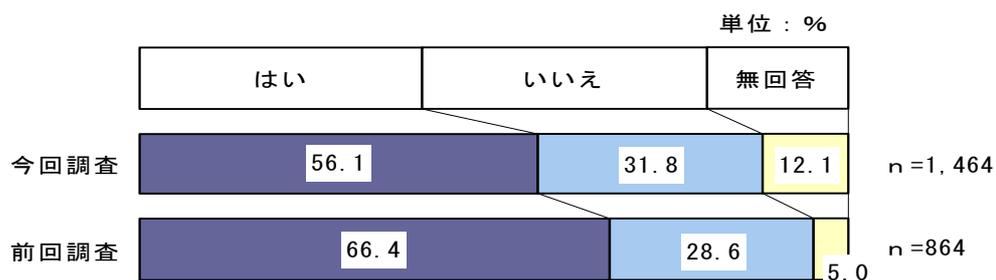
1) 休養・こころの健康づくり

問「この1か月間に、不満、悩み、苦勞、ストレスがあったか」



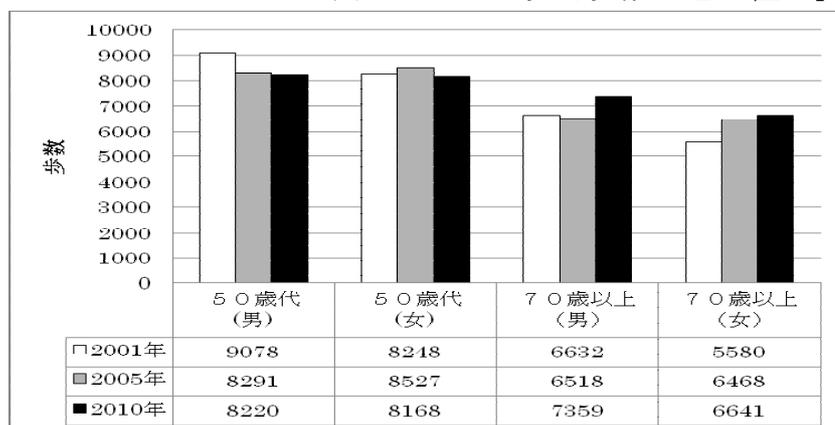
2) アルコール

問「適度な飲酒量を知っているか」



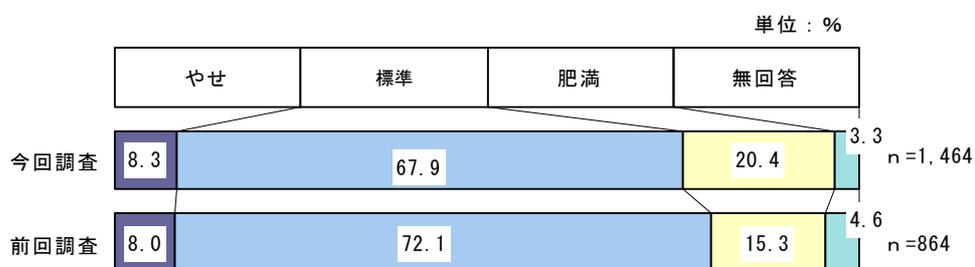
3) 身体活動・運動

問「1日に歩く歩数はどれ位か」



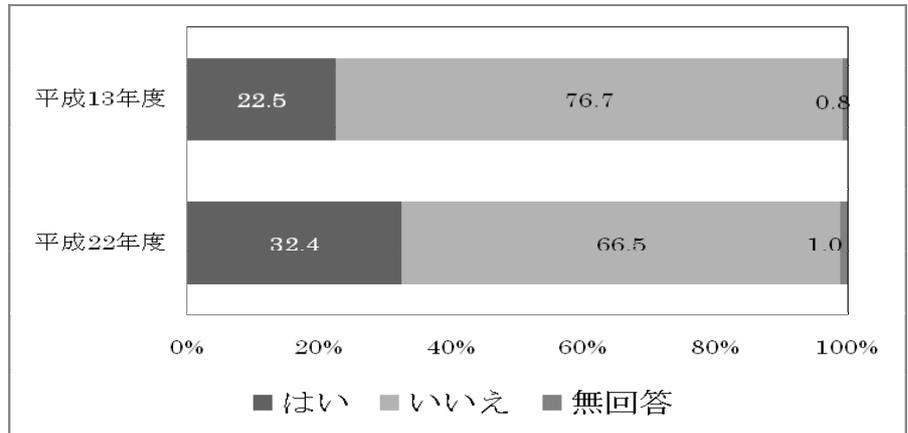
4) 肥満

問「BMIについて」身長・体重より計算



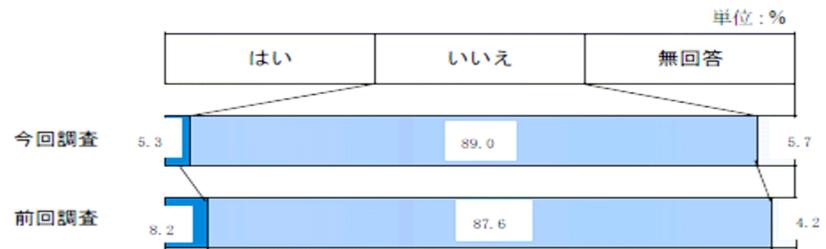
5) 高血圧

問「今まで血圧が高いといわれたか」



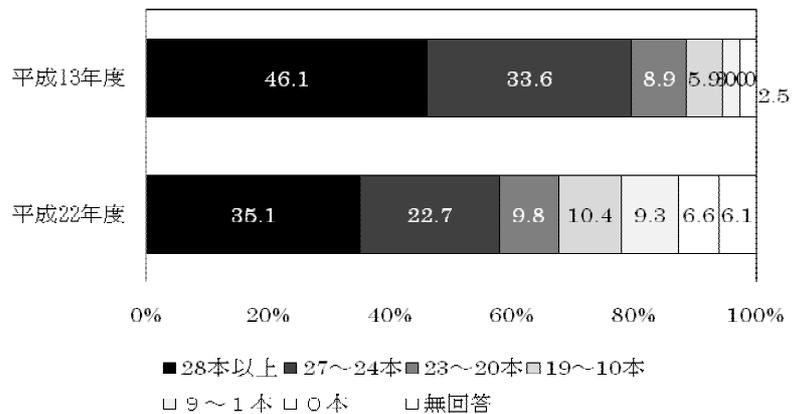
6) 糖尿病

問「今まで医療機関で糖尿病と診断されたことがあるか」



7) 歯の本数

問「あなたは現在何本の歯が残っているか」



II 市民健康意識補足調査結果

1 目的

主にストレスや不安・悩みについての意識調査を行い「休養・こころの健康づくり」の領域を推進するための基礎資料とする。

2 調査の方法

- (1) 調査は記入式のアンケート調査による。
- (2) 市民に直接手渡しで配布、その場で回収。
- (3) 調査項目…体調不良・ストレス・不安・悩み・生活の様子・自殺等 13 問
- (4) 調査時期…平成 22 年 4 月～5 月

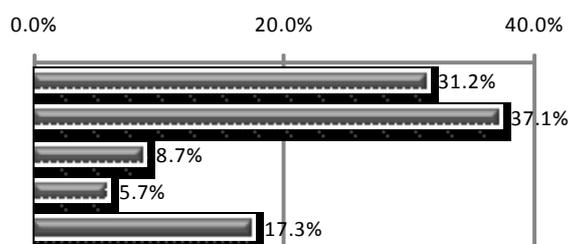
3 回収状況

- (1) 調査対象者等 814 人
- (2) 有効回収数 807 人 (性別・年齢のいずれかが未記入のものは無効とした)

4 調査回答者の属性

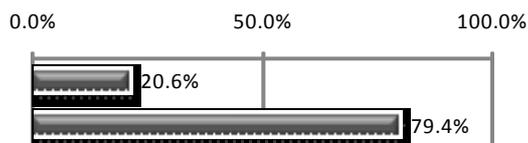
- (1) 調査対象数

	調査数	構成比
乳児健診	252	31.2%
ガン検診	299	37.1%
パパママ教室	70	8.7%
特定保健指導	46	5.7%
その他団体等	140	17.3%
全体	807	100.0%



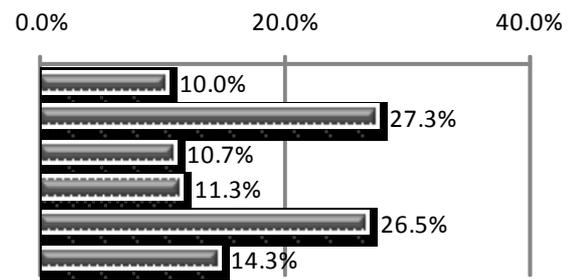
- (2) 性別

	調査数	構成比
男性	166	20.6%
女性	641	79.4%
全体	807	100.0%



(3) 年齢

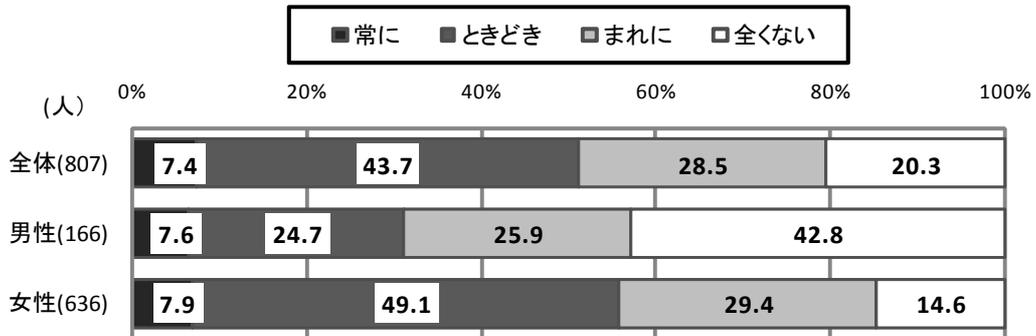
	調査数	構成比
30歳未満	81	10.0%
30歳代	220	27.3%
40歳代	86	10.7%
50歳代	91	11.3%
60歳代	214	26.5%
70歳以上	115	14.3%
全体	807	100.0%



5 調査結果

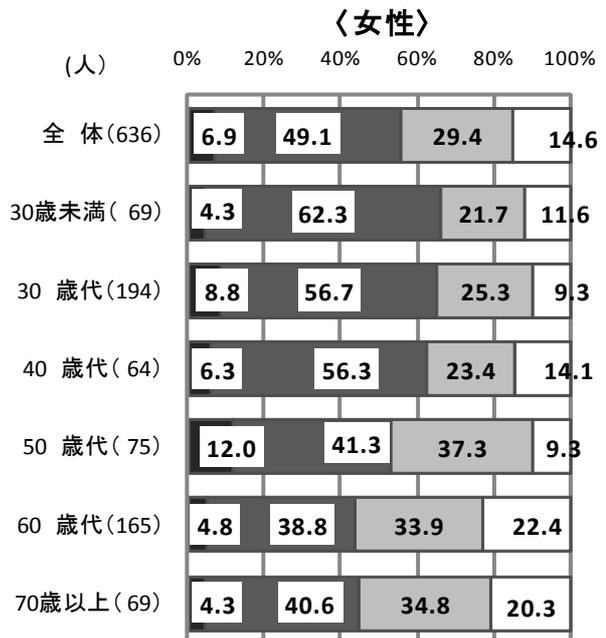
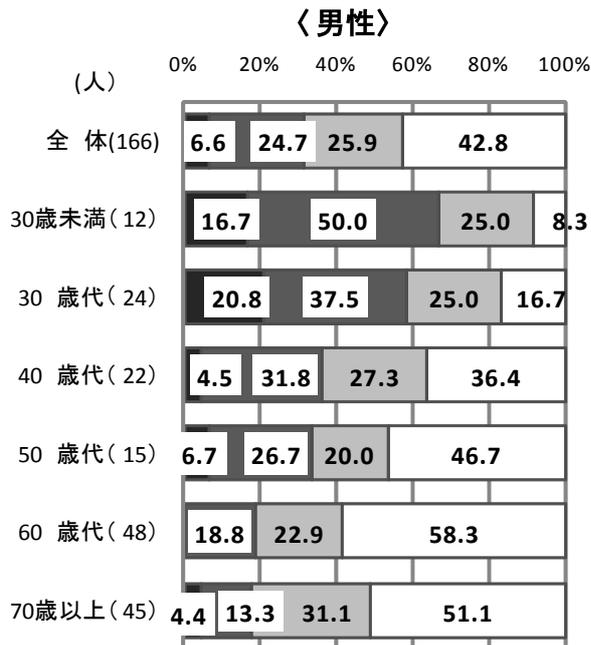
問1 あなたは、この1ヶ月間に体調不良や疲れがありましたか。(○はひとつ)

全体・性別



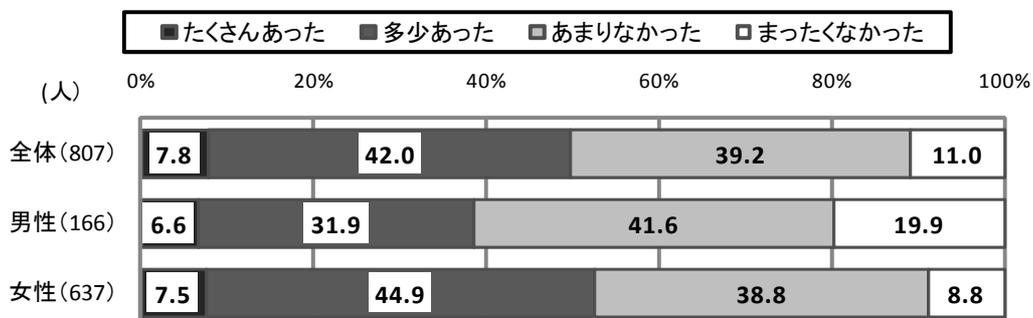
※無回答者も全体人数に含む

性／年齢別



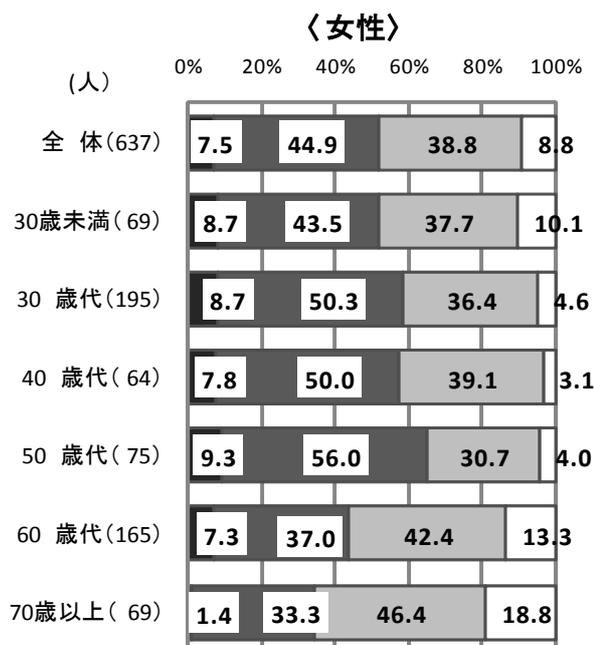
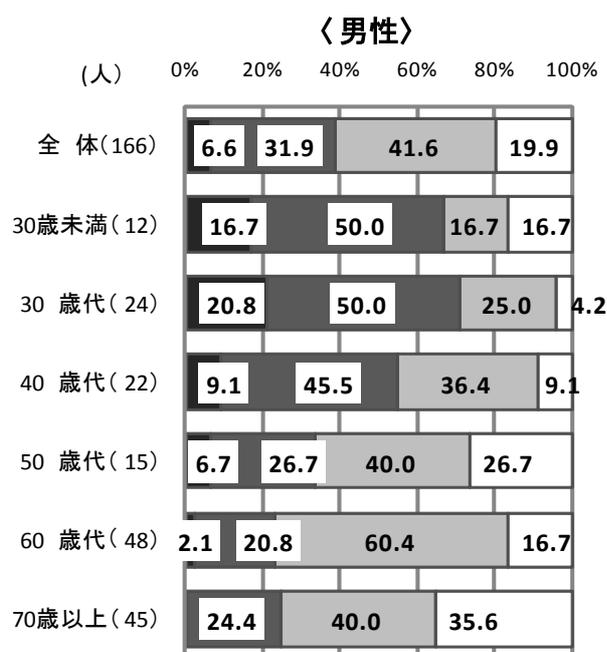
問2 あなたはこの1ヶ月間に、不満・悩み・ストレスなどがありましたか。(〇はひとつ)

全体・性別



※無回答者も全体人数に含む

性／年齢別

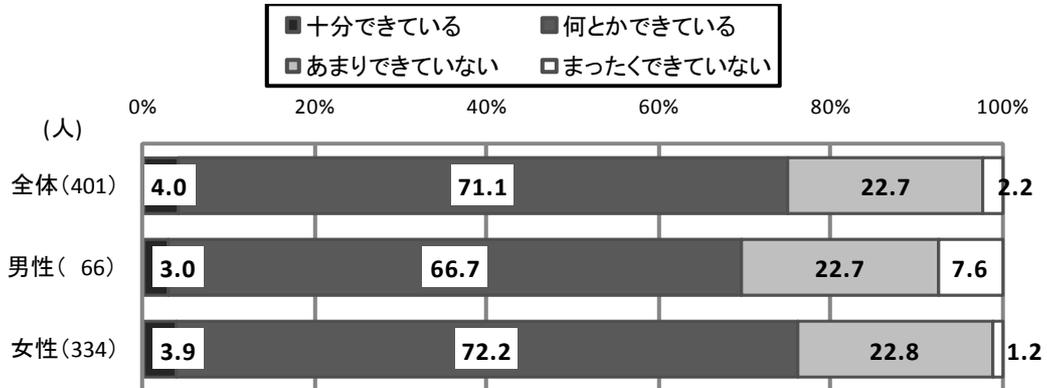


(問2で「1」か「2」と答えた方のみ)

問3 あなたは、その不満・悩み・ストレスなどを解消できていると思いますか。

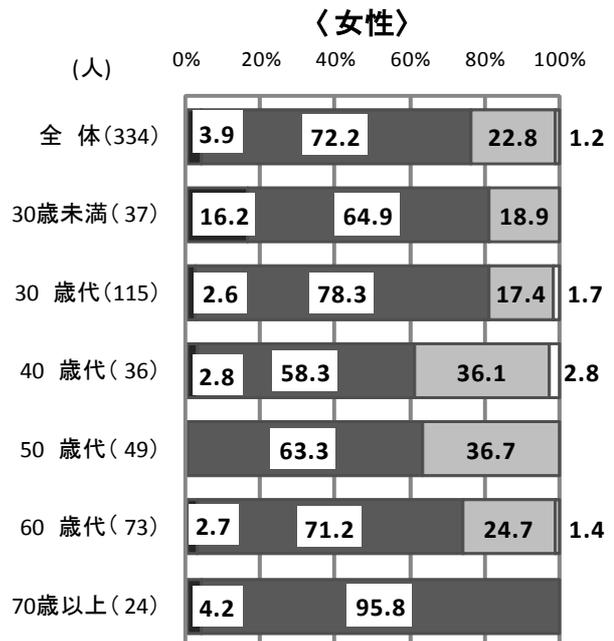
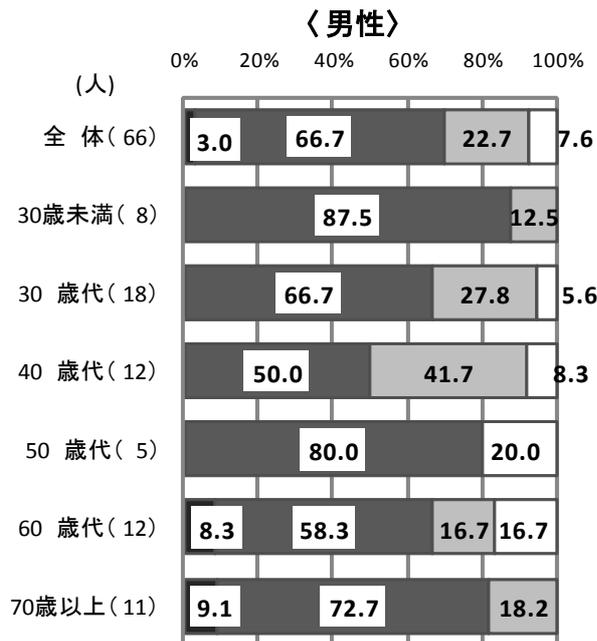
(○はひとつ)

全体・性別



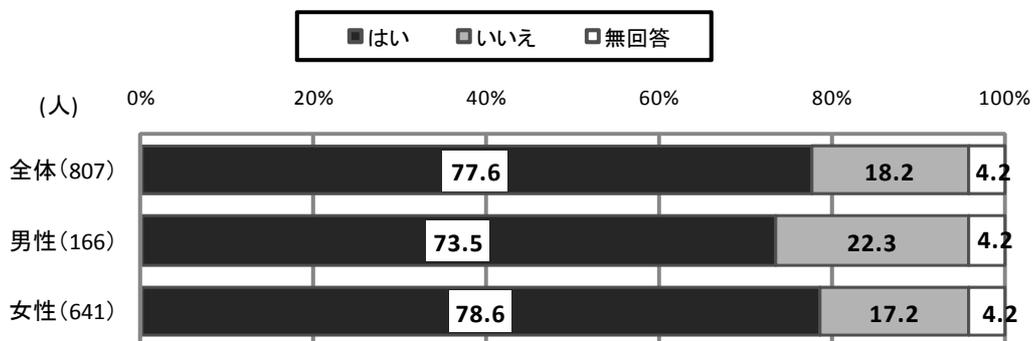
※無回答者も全体人数に含む

性／年齢別

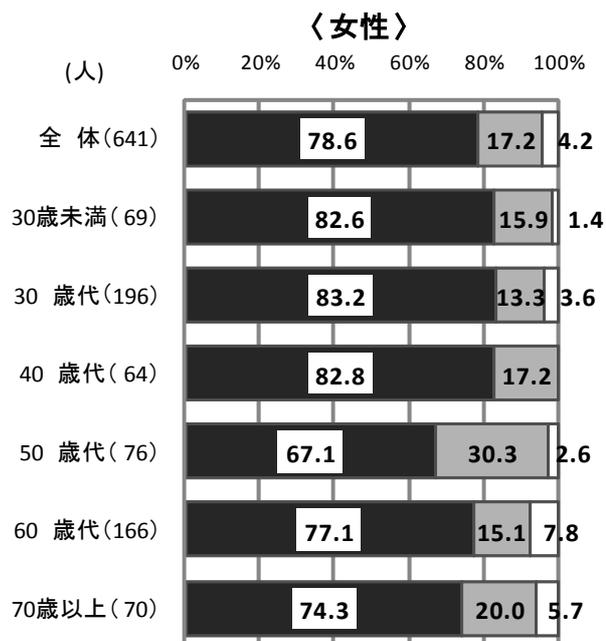
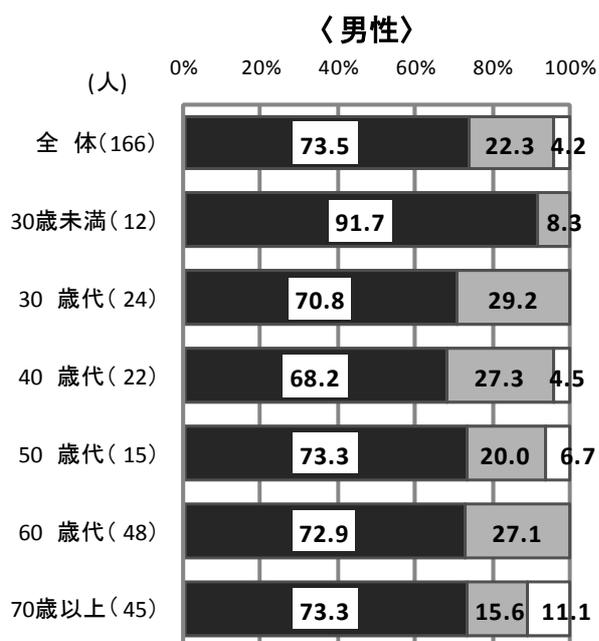


問4 あなたは自分に合ったストレス解消法がありますか。

全体・性別

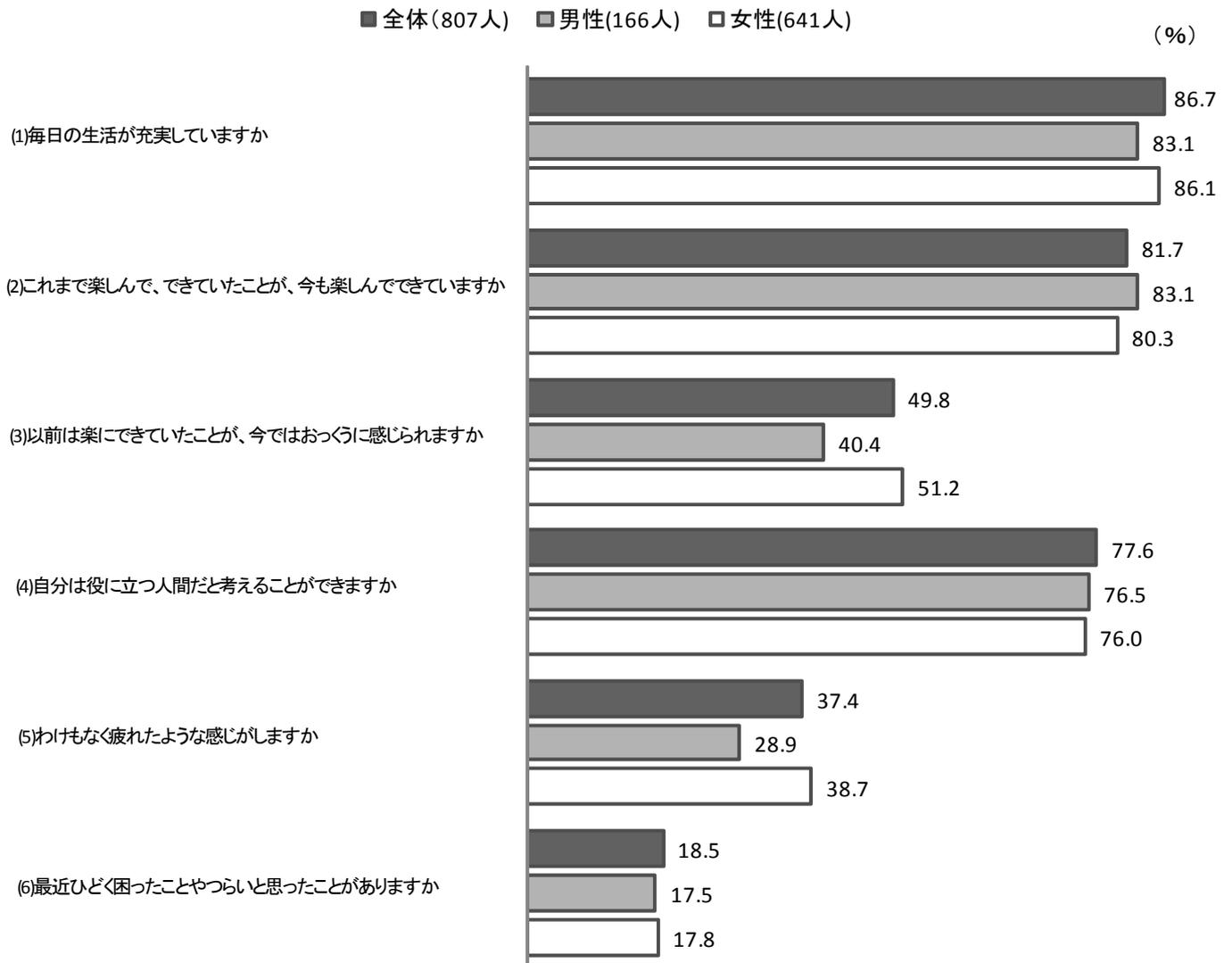


性／年齢別



問5 最近の生活の様子

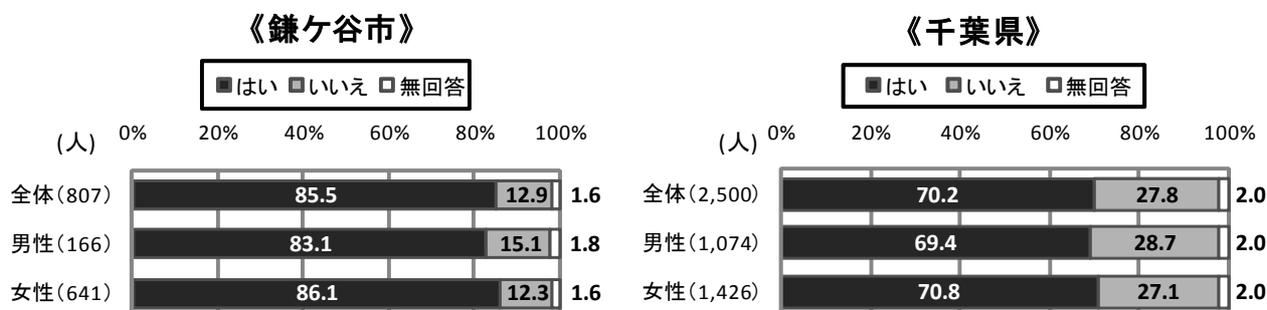
全体・性別



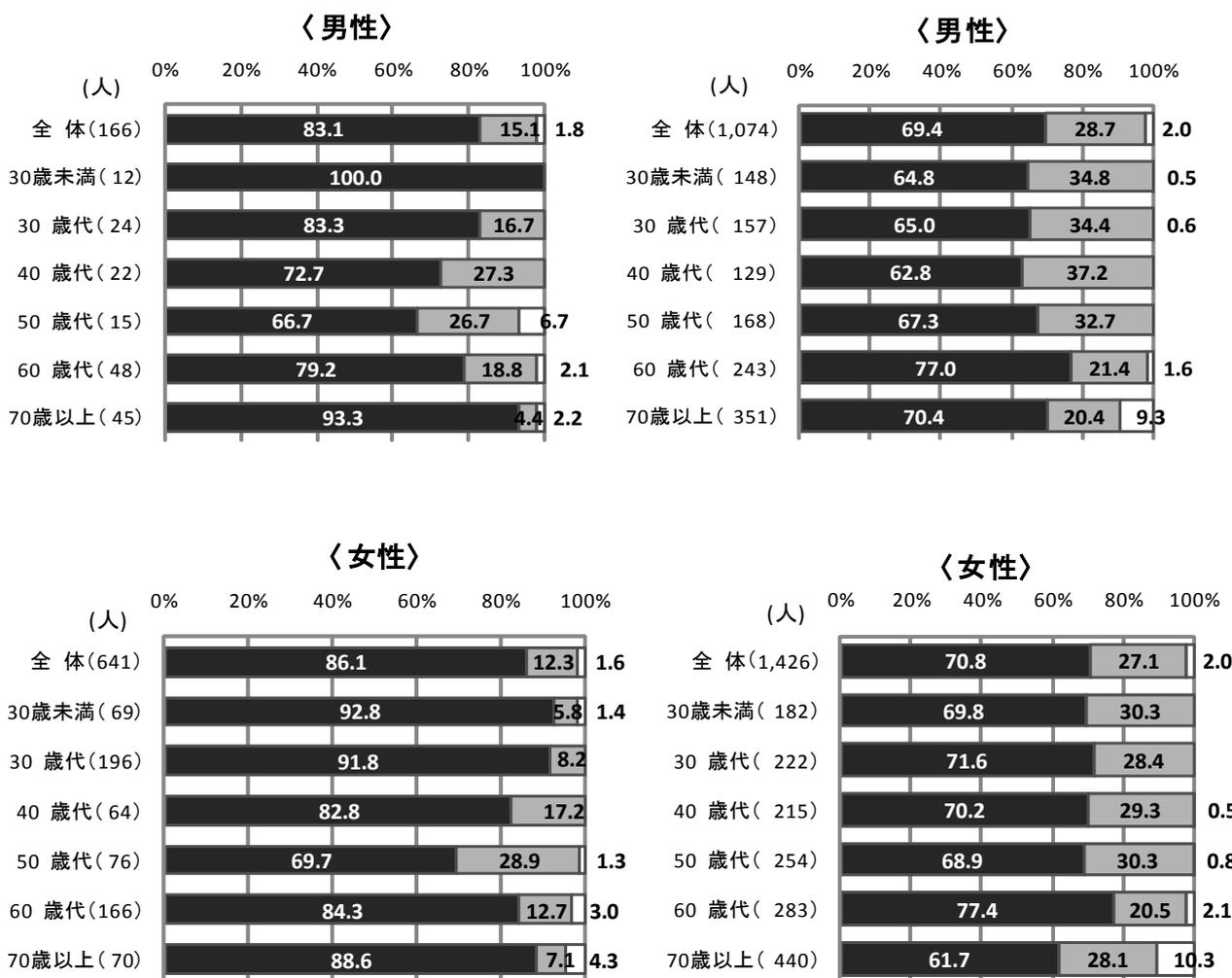
*回答のうち「はい」のみを表示したものの

問5 最近の生活の様子 (1) 毎日の生活が充実していますか。(〇はひとつ)

※問5については、千葉県調査⁶と同じ内容で調査したので千葉県と比較を行った。
全体・性別



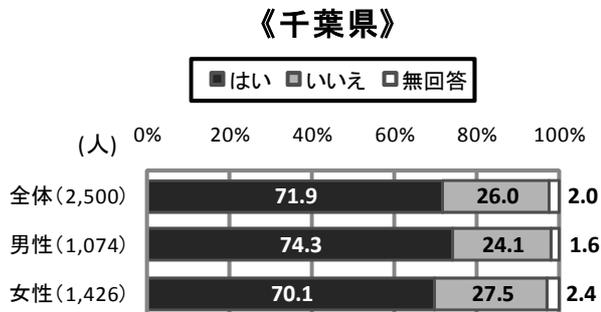
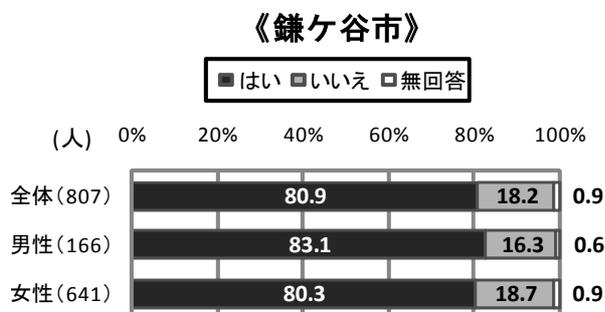
性/年齢別



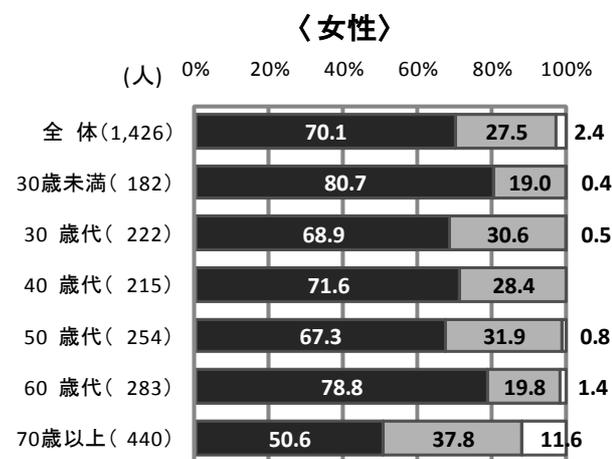
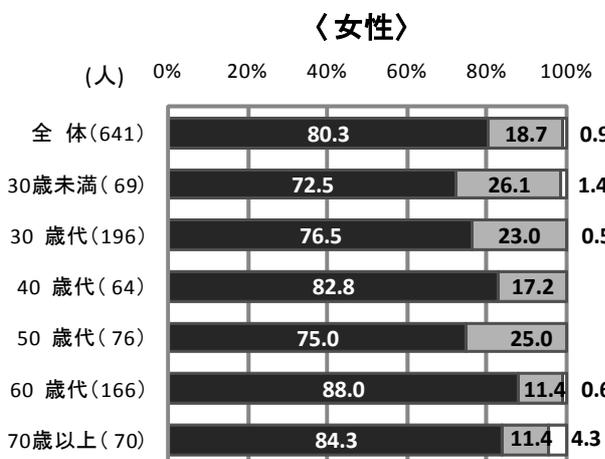
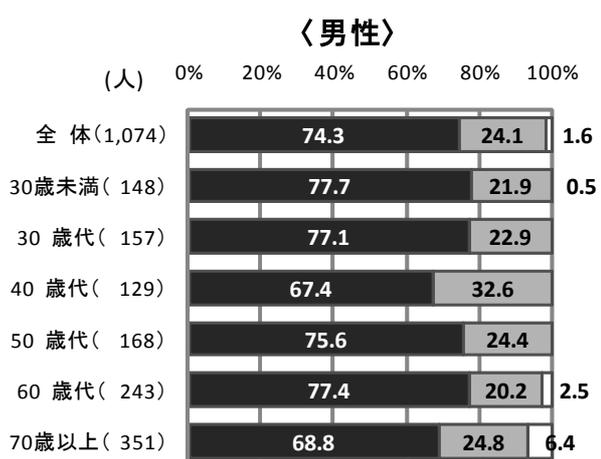
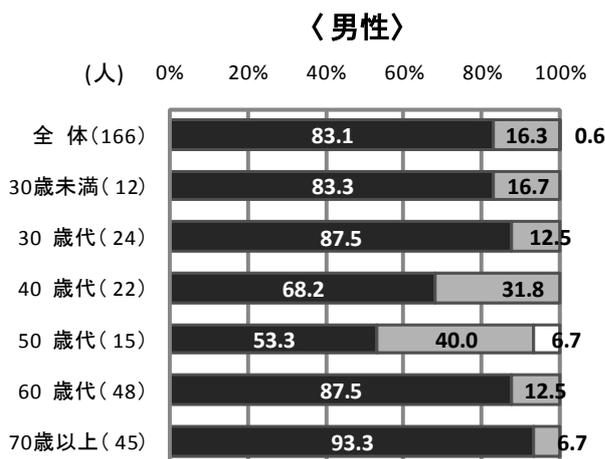
⁶ 千葉県調査…平成21年度千葉県民意識調査

問5 (2) これまで楽しんでやれていたことが、今も楽しんでできていますか。
(○はひとつ)

全体・性別

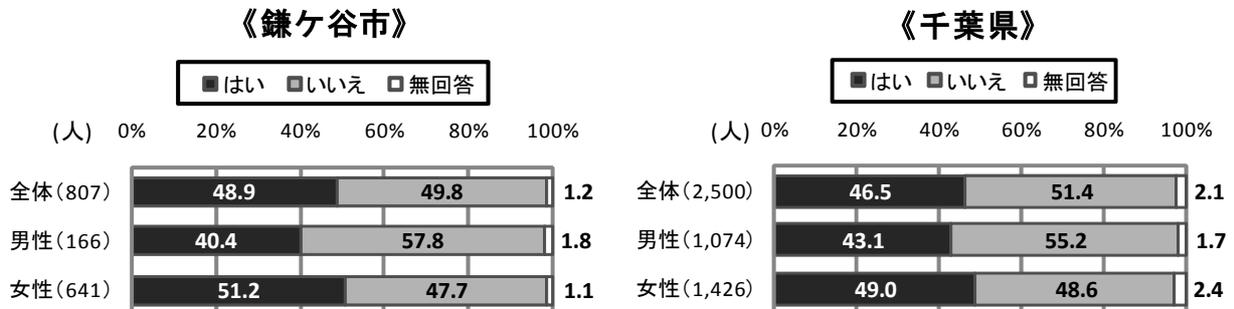


性／年齢別

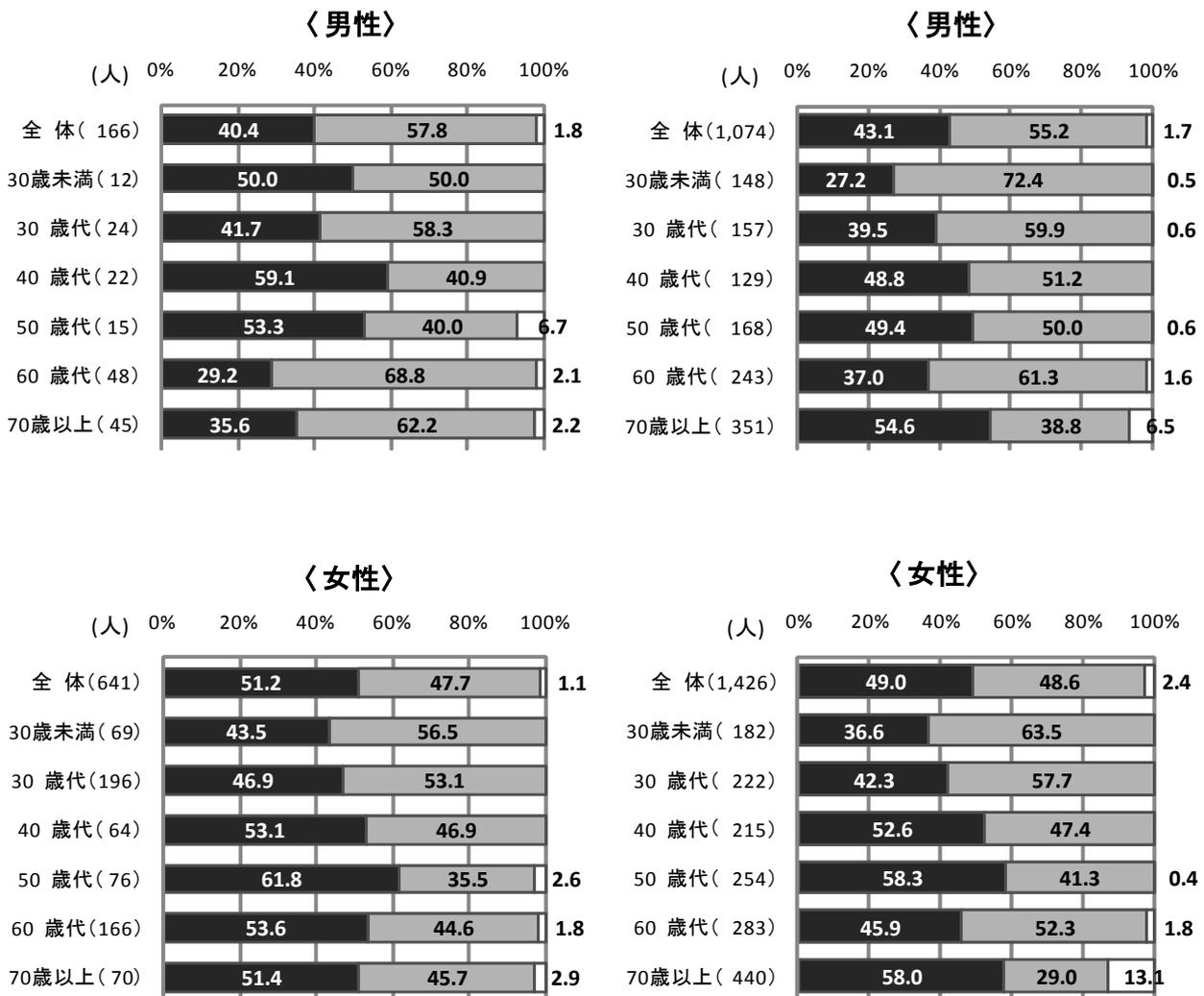


問5 (3) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられますか。
(○はひとつ)

全体・性別

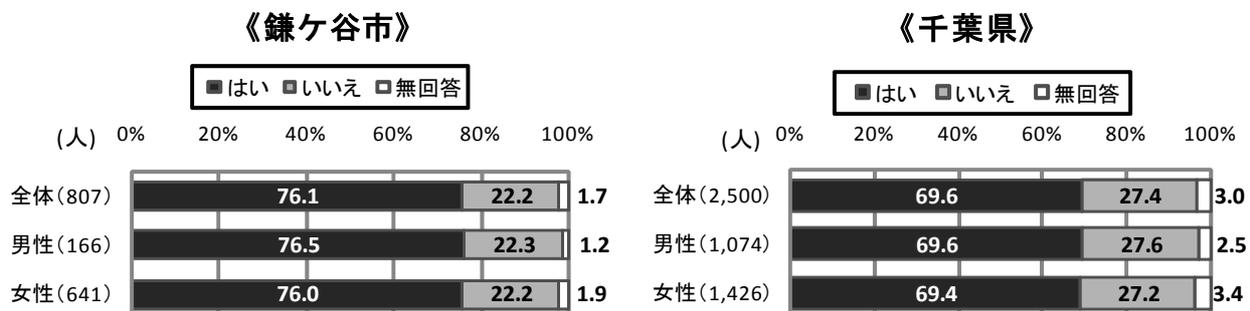


性／年齢別

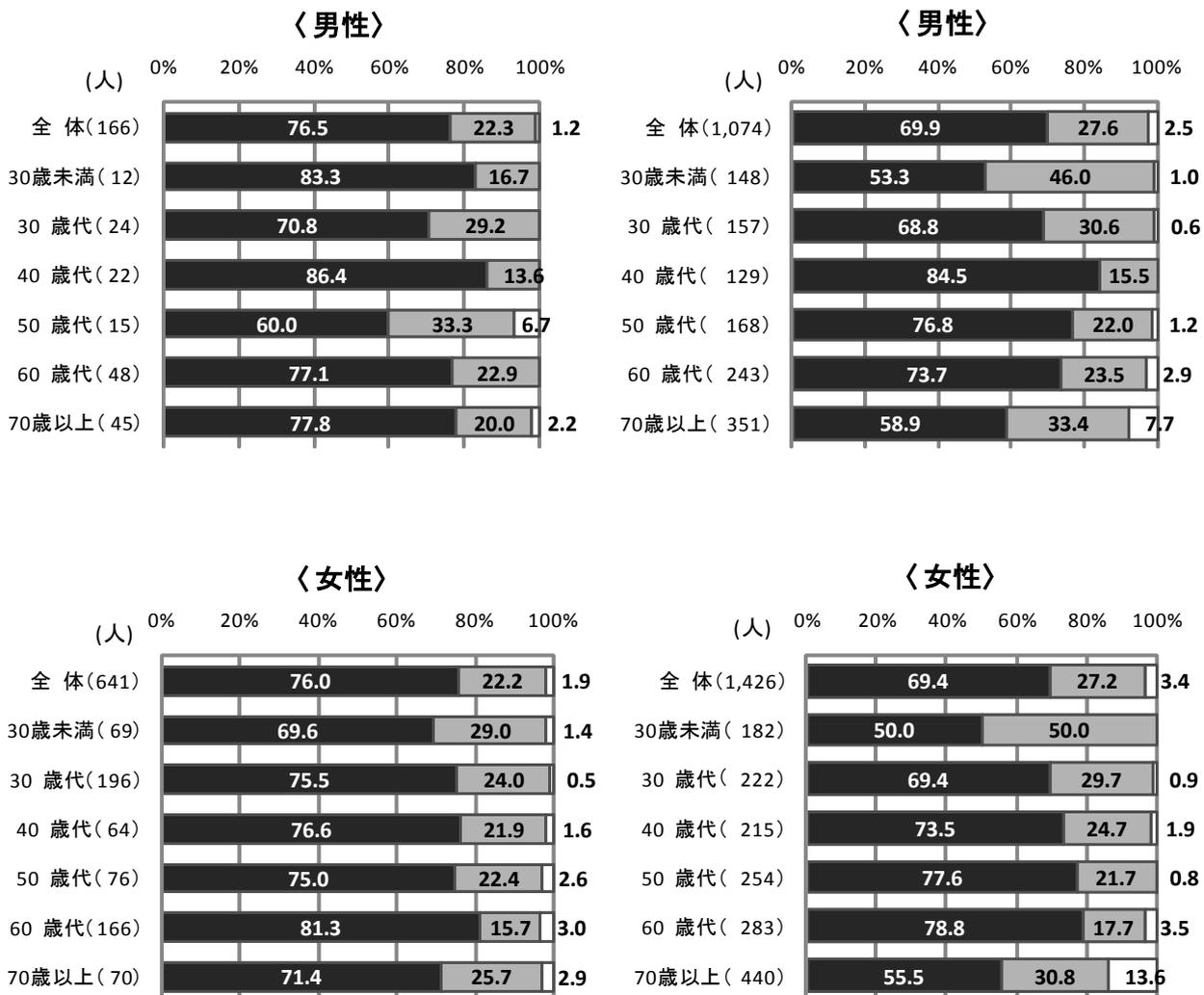


問5 (4) 自分は役に立つ人間だと考えることができますか。(○はひとつ)

全体・性別

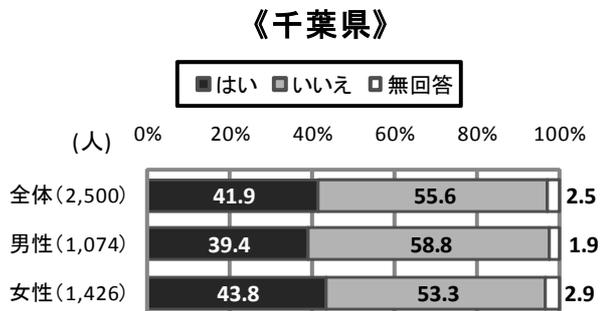
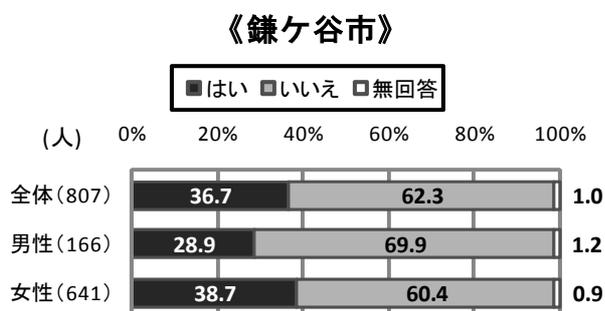


性/年齢別

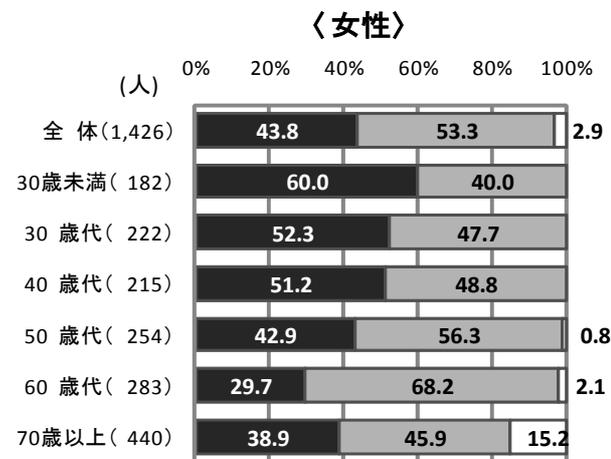
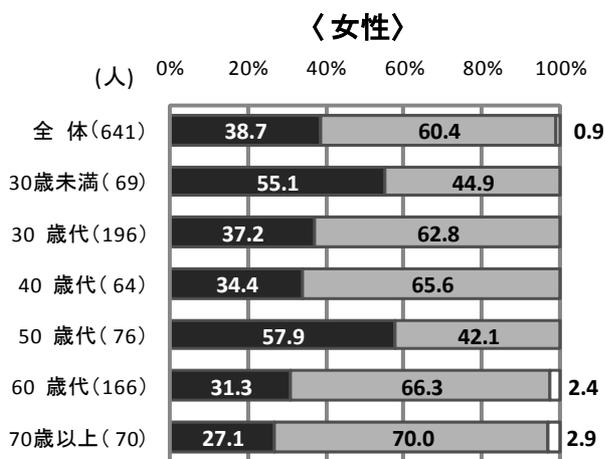
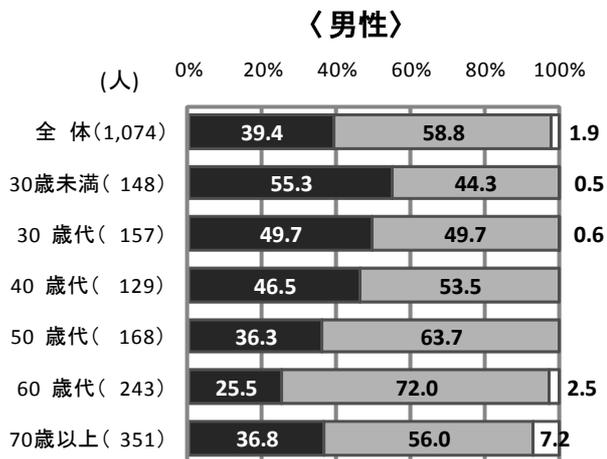
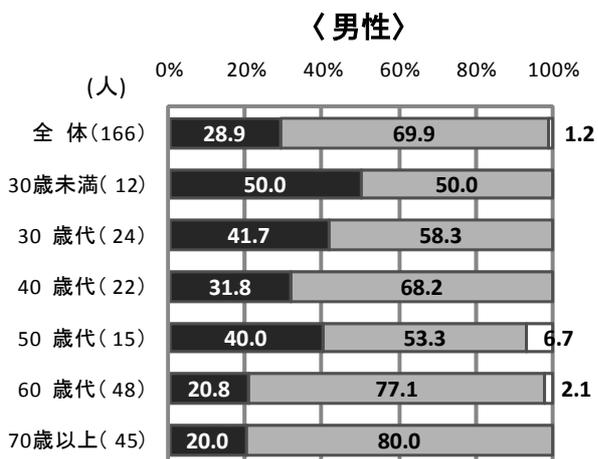


問5 (5) わけもなく疲れたような感じがしますか。(〇はひとつ)

全体・性別

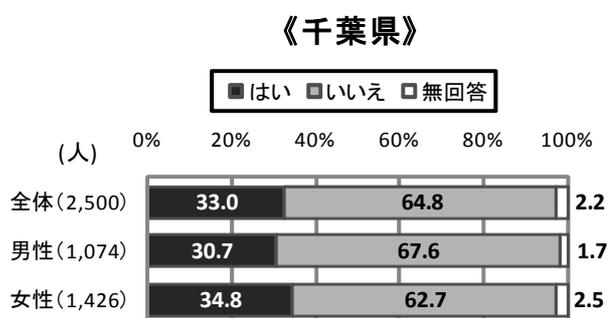
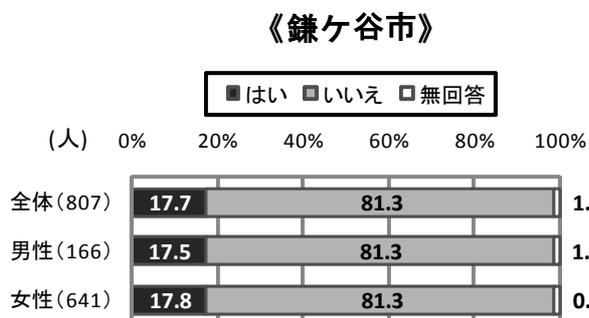


性／年齢別

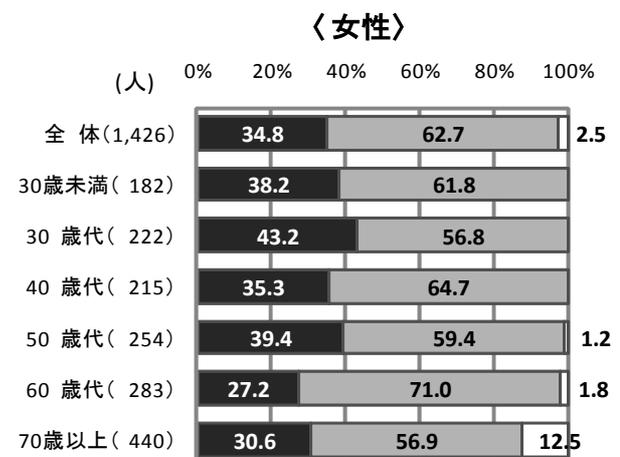
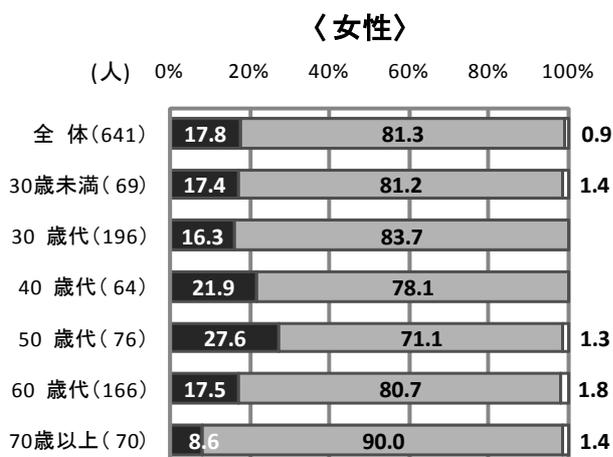
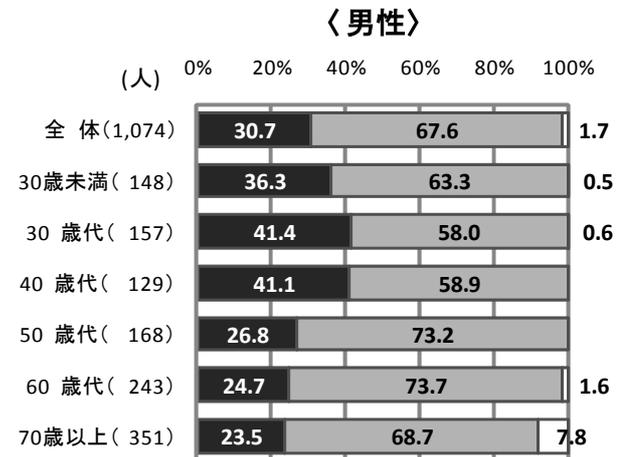
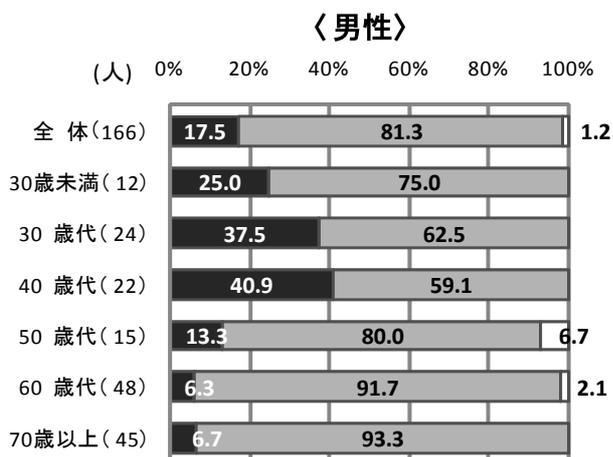


問5 (6) 最近ひどく困ったことやつらいと思っただけことがありますか。(〇はひとつ)

全体・性別



性／年齢別



問5 最近の生活の様子 (全体・性別・性/年齢別)

上段：実数 下段：%

	合計	該当数6	該当数5	該当数4	該当数3	該当数2	該当数1	該当数0
全体	807	10	28	56	102	161	212	238
	100.0%	1.2%	3.5%	6.9%	12.6%	20.0%	26.3%	29.5%
男性	166	2	6	7	16	38	39	58
	100.0%	1.2%	3.6%	4.2%	9.6%	22.9%	23.5%	34.9%
女性	641	8	22	49	86	123	173	180
	100.0%	1.2%	3.4%	7.6%	13.4%	19.2%	27.0%	28.1%

《男性》

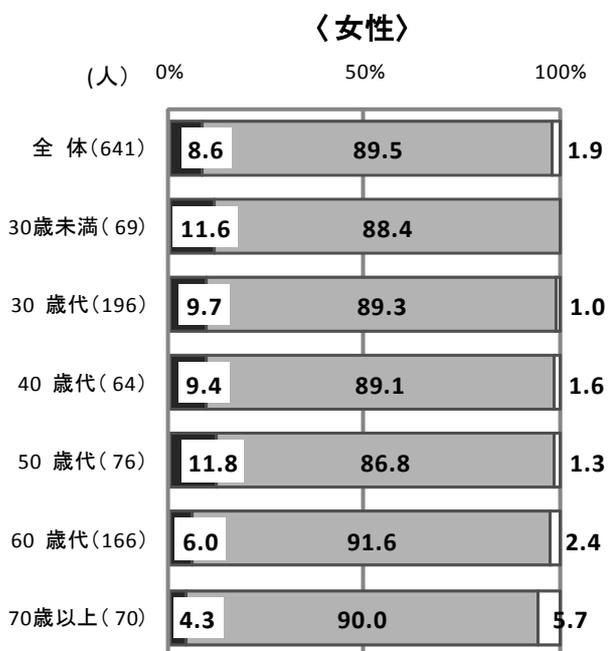
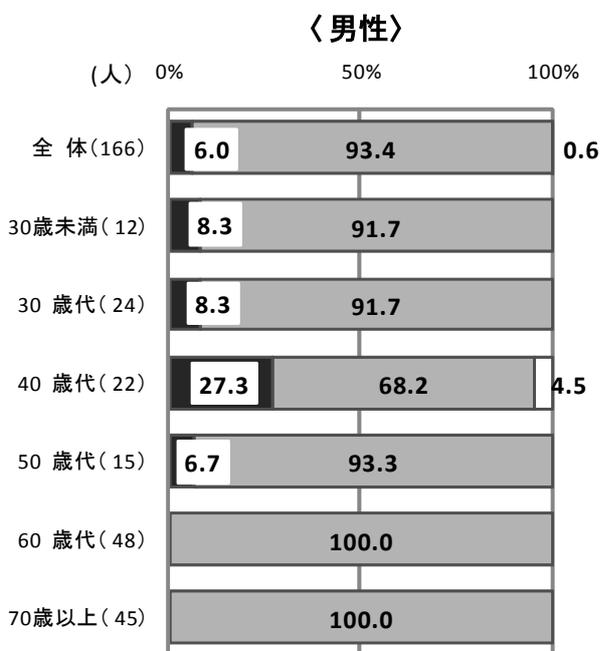
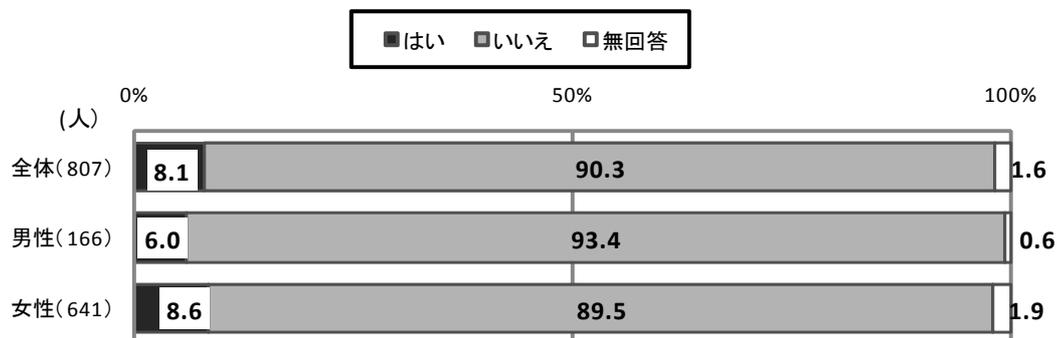
全体	166	2	6	7	16	38	39	58
	100.0%	1.2%	3.6%	4.2%	9.6%	22.9%	23.5%	34.9%
30歳未満	12	0	0	0	3	3	4	2
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	33.3%	16.7%
30代	24	0	2	0	3	10	4	5
	100.0%	0.0%	8.3%	0.0%	12.5%	41.7%	16.7%	20.8%
40代	22	0	2	3	2	7	3	5
	100.0%	0.0%	9.1%	13.6%	9.1%	31.8%	13.6%	22.7%
50代	15	1	2	1	3	0	2	6
	100.0%	6.7%	13.3%	6.7%	20.0%	0.0%	13.3%	40.0%
60代	48	1	0	2	3	9	12	21
	100.0%	2.1%	0.0%	4.2%	6.3%	18.8%	25.0%	43.8%
70歳以上	45	0	0	1	2	9	14	19
	100.0%	0.0%	0.0%	2.2%	4.4%	20.0%	31.1%	42.2%

《女性》

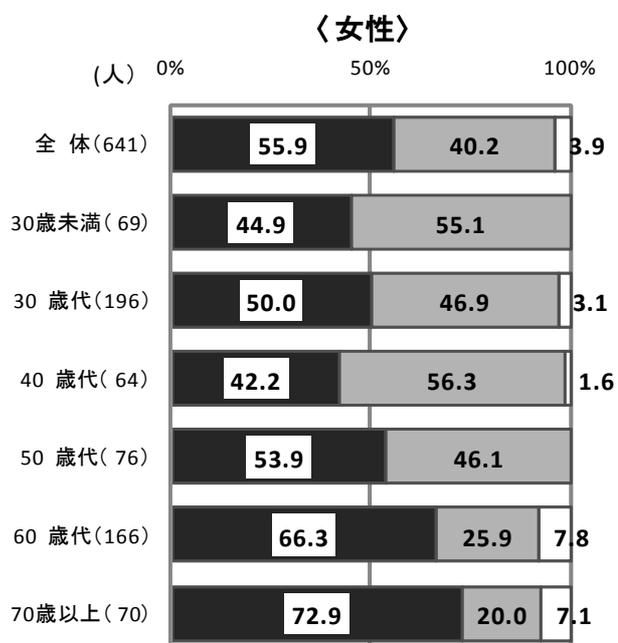
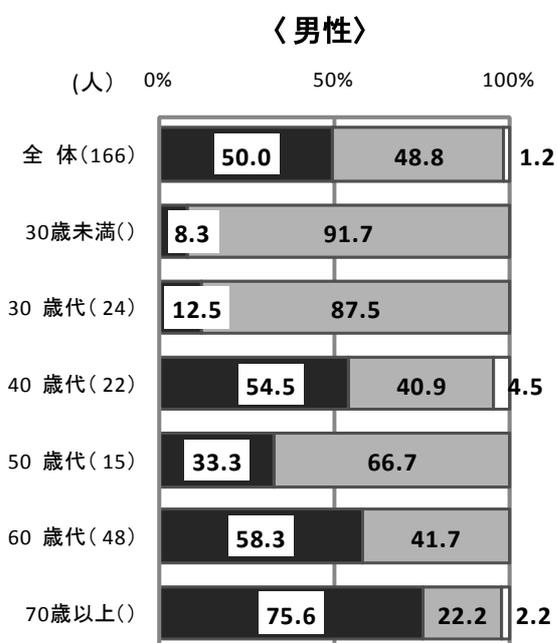
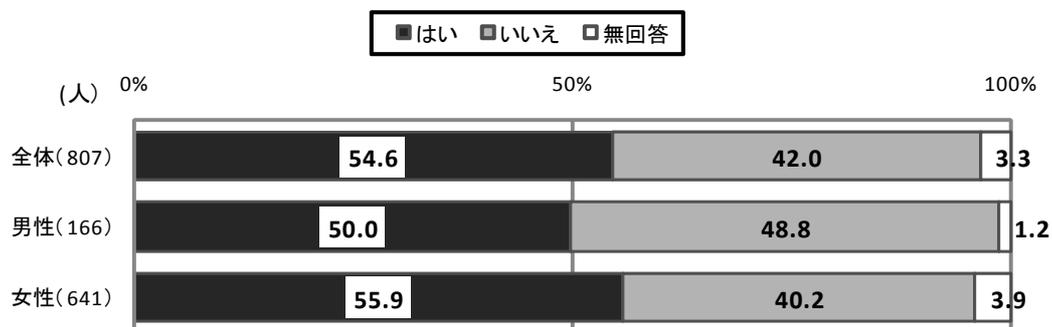
全体	641	8	22	49	86	123	173	180
	100.0%	1.2%	3.4%	7.6%	13.4%	19.2%	27.0%	28.1%
30歳未満	69	0	4	5	14	14	12	20
	100.0%	0.0%	5.8%	7.2%	20.3%	20.3%	17.4%	29.0%
30代	196	4	5	12	28	33	58	56
	100.0%	2.0%	2.6%	6.1%	14.3%	16.8%	29.6%	28.6%
40代	64	0	4	5	9	12	15	19
	100.0%	0.0%	6.3%	7.8%	14.1%	18.8%	23.4%	29.7%
50代	76	3	4	12	11	18	15	13
	100.0%	3.9%	5.3%	15.8%	14.5%	23.7%	19.7%	17.1%
60代	166	0	4	12	19	32	47	52
	100.0%	0.0%	2.4%	7.2%	11.4%	19.3%	28.3%	31.3%
70歳以上	70	1	1	3	5	14	26	20
	100.0%	1.4%	1.4%	4.3%	7.1%	20.0%	37.1%	28.6%

注) ここでいう該当数とは、問5の(1)、(2)、(4)については「いいえ」を選択した場合を「該当あり」とし、また(3)、(5)、(6)については「はい」を選択した場合を「該当あり」として、その数を合計した数である。

問6 あなたは自殺したいと思ったことがありますか。(過去5年間)



問7 あなたはかかりつけ医の役割を知っていますか。



Ⅲ 歩数調査結果

1 目的

健康づくりに欠かせない運動習慣の一つとして市が独自に設定した「日常生活における歩数の増加」の現状を把握し「身体活動・運動」の領域を推進するための基礎資料とする。

2 調査の方法

(1) 対象

市内居住者で50歳代男女と70歳以上の男女。

調査は、健康増進課の事業でかかわる市民を中心とする。対象の選定にあたっては、性別、年齢階級毎の対象を各50人以上とする。

- ・胃・大腸がん検診受診者
- ・保健師の地区活動（高齢者健康体操の会や高齢者の集いなど）
- ・特定保健指導利用者
- ・保健推進員の配偶者
- ・保健推進員を介した住民
- ・職員及びその家族

(2) 実施方法

配布した歩数計で起床から就寝までを測定し、調査票に自己記入する。

(3) 調査期間

平成22年4月1日（木）～5月10日（月）のうち連続した3日間。

(4) 調査内容

50歳代男女と70歳以上の男女の歩数を測定し、3日間の平均値を出す。

(5) 分析方法

それぞれの年代を男女別に集計し、平均値を策定時調査結果と比較する。

3 調査結果

(1) 協力者

対	象	回答人数
50歳代	男性	56人
	女性	56人
70歳以上	男性	54人
	女性	56人

(2) 歩数調査結果

対 象	目標値 (2010 年)	市の現状 (2001 年)	市の現状 (2005 年)	市の現状 (2010 年)	比 較
50 歳代 (男)	9100歩 以上	9078歩	8291歩	8220歩	減少
50 歳代 (女)	8500歩 以上	8248歩	8527歩	8168歩	減少
70 歳以上 (男)	現状維持	6632歩	6518歩	7359歩	増加 (目標達成)
70 歳以上 (女)	現状維持	5580歩	6468歩	6641歩	増加 (目標達成)

4 考察

50 歳代は男女とも歩数の減少がみられ、目標達成されていない。また、70 歳以上は男女とも歩数は増加し、目標は達成されている。



その他資料

I 第一次計画評価と第二次計画策定までの経過

平成21年度

月 日	経 過	内 容
5月15日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第二次計画の期間について協議
5月23日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・鎌ケ谷市総合基本計画（後期計画）との整合性について協議
5月25日		
6月19日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・母子保健計画と食育推進計画との整合性について協議
6月29日		
7月 9日		・第一次計画評価と第二次計画策定スケジュールについて協議
8月26日	健康づくり推進協議会	・第一次計画評価の進捗状況と第二次計画策定について協議
8月26日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第一次計画の評価内容について協議
9月17日		・市民健康意識調査の実施について協議
10月 8日		・評価と策定の役割分担について協議
12月15日		
1月21日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第一次計画の評価と第二次計画策定の意思決定について協議
1月28日		・歩数調査の実施について協議
2月 1日		・第二次計画の骨子について協議
2月16日		・市民健康意識調査項目について協議
2月23日		
3月16日		
3月下旬～	アドバイザーとの打ち合わせ	きらり鎌ケ谷体操のプロセス評価実施

平成22年度

月 日	経 過	内 容
4月 2日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・市民健康意識調査内容について
5月 6日		・歩数調査の準備について
5月31日		・第二次計画フレームの決定について ・第二次計画策定のための資料について
4月下旬～ 5月中旬	歩数調査の実施、集計	・50歳代と70歳代の市民を対象に調査実施
5月～6月	市民健康意識調査の実施、集計	・無作為抽出3000人対象に調査実施
6月28日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第一次計画数値目標と各領域別評価

7月 8日		について協議 ・資料編について協議
8月 9日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・ダイジェスト版について協議
7月 8日	健康づくり推進協議会	・第一次計画の評価について協議
8月26日	アドバイザーとの打ち合わせ	・第一次計画の評価と第二次計画の策定について協議
8月30日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第一次計画の評価と第二次計画の策定について協議
9月 6日	歯と口の健康づくり作業班打ち合わせ	・歯と口の健康づくり領域の策定
9月 7日	疾病予防作業班打ち合わせ	・疾病予防領域の策定
9月 8日	休養・こころ作業班打ち合わせ 栄養・食生活作業班打ち合わせ	・休養・こころの健康づくり、栄養・食生活領域の策定
9月 9日	身体活動・運動作業班打ち合わせ	・身体活動・運動領域の策定
9月10日	栄養・食生活作業班打ち合わせ	・栄養・食生活領域の策定
9月13日	栄養・食生活作業班打ち合わせ 疾病予防作業班打ち合わせ	・栄養・食生活、疾病予防領域の策定
9月14日	身体活動・運動作業班打ち合わせ	・身体活動・運動領域の策定
9月22日	休養・こころ作業班打ち合わせ	・休養・こころの健康づくり領域の策定
9月24日	歯と口の健康づくり作業班打ち合わせ	・歯と口の健康づくり領域の策定
9月27日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第二次計画の推進について協議
9月30日	アドバイザーとの打ち合わせ	・第二次計画全体について協議
10月 8日	プロジェクトチーム打ち合わせ会	・第二次いきいきプラン・健康かまがや21（案）についての協議
10月25日	アドバイザーとの打ち合わせ	
11月 4日	健康づくり推進協議会	
11月22日	庁内政策調整会議	
11月29日	庁内政策会議	
12月18日 ～1月17日	パブリックコメント	・市ホームページで意見募集
2月 3日	健康づくり推進協議会	・パブリックコメントの結果と市の考え方についての協議
2月22日	庁内政策調整会議	
2月28日	庁内政策会議	

※平成23年度広報かまがや4月15日号で計画概要の公表、4月より市ホームページ内に「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」ホームページを新設し計画の詳細を公表予定

Ⅱ 「いきいきプラン健康かまがや 21」の評価及び策定者

策定審議機関

鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会委員

氏名	所属	備考
中井 愷雄	鎌ヶ谷市医師会代表	会長
石川 広巳	鎌ヶ谷市医師会代表	
田中 憲太郎	船橋歯科医師会代表	
藤木 哲郎	千葉県習志野健康福祉センター長	
福島 節子	船橋市栄養士会代表	
小倉 一哲	鎌ヶ谷市飲料組合連合会代表	
和田 洋子	鎌ヶ谷市食生活改善協議会会長	
菅村 恵子	鎌ヶ谷市保健推進員協議会	
鈴木 操	こども課長	
山崎 久雄	学務課長	

助言指導者

氏名	所属
渡辺 志保	(社) 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター

作業班

- 1 栄養・食生活 保健師 1名、栄養士 4名、歯科衛生士 1名
- 2 身体活動・運動 保健師 5名
- 3 こころの健康づくり 保健師 4名
- 4 歯と口の健康づくり 保健師 1名、栄養士 1名、歯科衛生士 3名
- 5 疾病予防 保健師 2名、事務職 1名、放射線技師 2名、看護師 1名、歯科衛生士 1名

事務局

健康増進課プロジェクトチーム

構成メンバー：保健師 4名、事務職 1名、放射線技師 1名、栄養士 1名、歯科衛生士 1名